## 山口大学インフラ長寿命化計画 (インフラ長寿命化のための行動計画・個別施設毎の長寿命化計画)

国立大学法人山口大学 令和5年3月

## 【目次】

1. 長寿	命化計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
1-1	背景
1-2	目指すべき姿
1-3	対象施設
1-4	計画期間
1-5	フォローアップ計画
2. 施設(	D実態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3
2-1	施設の現状
2-2	施設の課題
3. 必要於	施策に係る取組の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
3-1	点検・診断、修繕・更新等
3-2	基準類の整備
3-3	情報基盤の整備と活用
3-4	予算管理
3-5	体制の整備
4. 優先	ー 順位の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
4-1	優先順位の考え方
4-2	劣化状況評価
5. 対策	内容と実施時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
5-1	対策内容
5-2	点検・診断
5-3	修繕・更新
6. 整備	計画の策定方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13
6-1	整備計画
6-2	計画区分
6-3	施設のトリアージ
7. 対策	費用・・・・・・・・・・P20
7-1	中長期的なコストの見通し
7-2	財源区分
7-3	性能維持改修の必要額
7-4	保有面積の抑制に
7–5	教育研究施設における性能維持費の確保状況
8. 整備	計画・・・・・・・・・P24

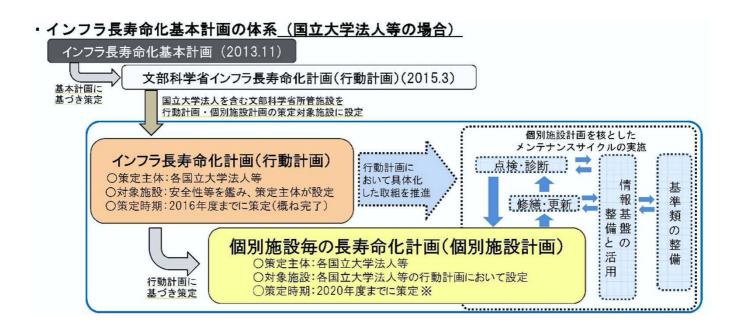
## 1. 長寿命化計画

## 1-1 背景

本学は大学、幼稚園、小・中・特別支援学校、図書館、屋内運動場、病院、動物病院、学生寄宿舎等、多数の利用者がある多様な施設を保有・管理している。本学の保有する施設は昭和40~50年代にかけて整備されたものが多く、建設後25年を経過した施設が保有面積の7割を占める等、老朽化が進行しており、これらの施設の維持管理には多大な費用を要している。平成16年度の法人化以降、国立大学への予算が年々削減されている厳しい財政状況を踏まえ、保有する施設の水準を確保しつつ、維持管理費の抑制を図ることが急務となっている。

このため、本学では、平成25年11月に国民生活や社会経済活動を支えるインフラに関する維持管理等の方向性を示す基本的な計画として策定された「インフラ長寿命化基本計画(インフラ老朽化対策の推進に関する関係府省庁連絡会議決定)」(以下「基本計画」という。)、平成27年3月に策定された「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」(以下「文科省行動計画」という。)に基づき、平成29年3月にインフラ長寿命化のための行動計画(以下「行動計画」という。)を、平成31年3月に個別施設毎の長寿命化計画(以下「個別施設計画」という。)を策定し、キャンパスマスタープラン(以下「CMP」という。)を補完する計画として位置付けた。

行動計画および個別施設計画では、保有・管理する施設について定期的に点検・診断を行い、その 結果等を踏まえ整備計画を策定し対策を実施していく「メンテナンスサイクル」を構築することを目 指してきたところであるが、これまでの取組の進捗状況や情報・知見の蓄積状況、対象施設の現状と 課題等を踏まえて、今後の取組の方向性を示し、インフラ長寿命化対策のさらなる取組を推進してい くため計画の見直しを行った。



## 1-2 目指すべき姿

本学の保有する建物・基幹設備(ライフライン)等(以下「インフラ」という。)の状況を定期的な点検・診断により把握し、その結果を踏まえた整備計画を策定する。また、メンテナンスサイクルを構築することにより、計画的な維持管理を行ない、対象施設における施設の健全性を確保するとともに、老朽化に起因する重要インフラの重大事故ゼロを目的とする。

上記の目的を達成するため、現在の厳しい財政状況においてもメンテナンスサイクルを着実に実行できるよう、従前の改築中心から長寿命化への転換により中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減を図るとともに予算の平準化に努める。

## 1-3 対象施設

本計画の対象施設は、本学が所有するすべての建物、基幹設備、ライフラインとする。

## 【計画対象】

分類	種別	備考				
建物	建物	外部、内部、建築設備				
基幹設備	高圧受変電設備	特別高圧受変電設備、高圧受変電設備				
	電源設備	自家発電設備				
	通信•防災設備	中央監視制御装置、電話交換機、消防設備				
	受水槽設備	受水槽、高架水槽				
	排水設備	排水処理設備				
	冷凍機設備					
	ボイラ設備					
	新エネルギー設備	太陽光発電設備、風力発電設備				
	昇降機設備	エレベータ、エスカレータ、小荷物専用昇降機				
ライフライン	屋外給水管					
	屋外ガス管					
	屋外排水管	雨水、汚水、実験				
	屋外冷暖房管	冷温水、高温水、蒸気				
	屋外電力線	高圧、低圧				
	屋外通信線	電話、LAN、防災				

## 【計画対象外】

- 借用施設、定期借地契約等により整備された建物等
- 工作物(フェンス・擁壁・案内板等)

## 1-4 計画期間

行動計画および個別施設計画の計画期間は2016年度~2051年度とする。個別施設計画における整備計画は12年単位でII期に分けて策定し、I 期の計画期間は2016年度から2027年度とする。

## 1-5 フォローアップ計画

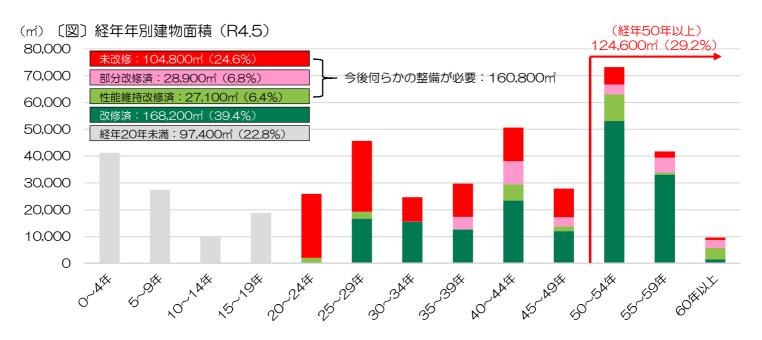
補完計画であるCMPの改定時期に合わせて6年毎に計画の見直しを行う。

## 2. 施設の実態

## 2-1 施設の現状

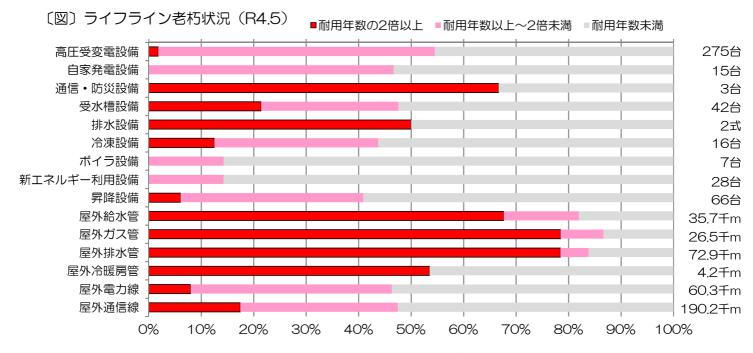
## 【建物】

本学は約42.6万㎡(R4.5現在 ※未完成含む)の建物を保有しており、経年年別建物面積の内訳は経年20年未満の建物が約9.7万㎡、経年21~49年の建物が約20.4万㎡、経年50年以上の建物が約12.5万㎡となっている。経年50年以上の建物面積は、H28.5月時点では約4.2万㎡(全面積の約10%)であったもの、この6年間で大幅に増加(約29%)している。



## 【ライフライン】

本学は基幹設備を454台、屋外配管を約139千m、屋外配線を251千m保有しており、耐用年数を超えたものの割合が約50%となっている。



※耐用年数:中央監視5年、電話線・情報線・防災ケーブル13年、光ケーブル10年、エレベータ17年、左記以外15年 ※屋外配管・配線には幹線以外を含む

## 2-2 施設の課題

保有施設のうち未改修の建物(約10.5万㎡)、部分改修・性能維持改修のみ実施済の建物(約 5.6万㎡)については、今後何らかの整備が必要である。また、経年50年以上の建物(約12.5万) m) は、今後10年で更に増加し、令和14年度には、約20.3万㎡(約48%)に達する。

ライフラインでは特に屋外配管の老朽化が著しい。経年が法定耐用年数の2倍以上の屋外配管が 70%を超えており、早急に更新する必要がある。

老朽化したインフラの増加により、機能面、経営面、安全面で課題が生じている。

【機能面】電気容量不足等の施設機能の陳腐化により新たな教育活動に支障が生じており、計画的に 機能改善を行う必要がある。

【経営面】老朽化した設備の使用による光熱水等のエネルギーロスや故障等の修理にかかる維持管理 費の増加が経営を圧迫しており、計画的に省エネ改修を行う必要がある。

【安全面】ガス管、給水管等の腐食による漏れや配電盤、電気配線の劣化による停電や火災等の重大 な事故が発生する恐れがある。また、防止、外壁の劣化により、雨漏りによる教育研究活動の中断や 外壁落下による重大な事故が発生する恐れがあるため、計画的にライフライン更新や老朽改善を行う 必要がある。



柱コンクリートの浮き



軒裏コンクリートの剥落



落下したコンクリート片



防水シートの破損・浮き



金属屋根の錆・腐食



竪樋の腐食



老朽化した低圧配電盤



老朽化した空調設備



老朽化した屋外給水管

## 3. 必要施策に係る取組の方向性

## 3-1 点検・診断、修繕・更新等

【点検・診断】

建築基準法、消防法等により法定点検等が義務付けられている建物、建築設備、消防設備、エレベータ設備等は法定点検等を着実に実施する。

法定点検等の義務付けがない建物についても、一定規模以上の建物は国土交通省告示第282号を参考とした点検を実施する。小規模建物は定期および随時の施設パトロールにより状態を把握し、劣化・損傷の程度に応じて詳細な調査を行う。

## 【修繕・更新】

従来の事後保全型から予防保全型への転換により長寿命化を図るとともに後々の維持管理が容易になる建材や工法、省エネ器具等を積極的に採用し、ライフサイクルコストを縮減する。

## 3-2 基準類の整備

点検・診断の着実な実施のためのマニュアル類、修繕・更新時における優先順位の判断基準、多様な財源による整備を検討するための規定等、メンテナンスサイクルを着実に実施するために必要となる基準類の整備を行なう。

## 3-3 情報基盤の整備と活用

施設の構造や面積、施設建設時から現在に至るまでの整備履歴等の情報を「見える化」するため建物カルテを整備し、適切な維持管理や整備計画の立案に活用する。

## 3-4 予算管理

【予算の平準化・保有施設の総量の抑制】

個別施設計画を着実に進めることができるよう、必要となる整備コストが特定の年度に偏らないよう平準化を行うとともに実行財源の確保に努める。また、予防保全型修繕への転換および保有施設の 総量の抑制を図ることでトータルコストの縮減に努める。

## 【多様な財源による整備】

新増築だけでなく老朽改善整備に対しても多様な財源を活用した戦略的な施設整備を推進する。

## 3-5 体制の構築

本学ではトップマネジメントの一環として施設マネジメントを推進するため、施設環境委員会を設置しており、総合的かつ長期的視点から、施設のクオリティ、スペース、コストの三つの視点を踏まえて施設マネジメントを実施する。

また、施設は共有財産であることから、山口大学を構成する学生・教員・職員が三者一体となり大切に使用し、健全な状態で維持していくことが重要である。施設マネジメントを推進すると同時に施設利用者への普及啓発を行い、利用当事者としての意識付けおよび、施設利用者を巻き込んだ維持管理体制を整える。

## 4. 優先順位の考え方

## 4-1 優先順位の考え方

## 【大規模改修】

大規模改修では、建物の安全性の確保とともに教育・研究・診療等の機能強化についても重要な要素であり、本学の理念や中期目標・中期計画を踏まえた整備とする必要がある。このため、CMPにおいて施設整備の方向性を示しており、各事業の優先順位は本学の施設環境委員会において審議し決定している。

## 【修繕・更新】

本計画の趣旨(メンテナンスサイクルの構築による計画的な維持管理の実施)を踏まえ、従来の事後保全型から予防保全型への転換により長寿命化を図るため、あらかじめ周期を定めて計画的に修繕・更新等を行う計画保全を基本とする。着実に実施するためには整備予算・整備量が特定の年度に偏らないよう平準化する必要があることから、その際の優先順位の考え方は次のとおりとする。

## (建物)

規模、用途、利用状況、老朽化状況等を考慮して総合的に優先度を判断する。なお、部位毎の劣化 状況評価が全て「A」の場合には整備時期の後送りを、評価項目に「D」評価が有る場合には整備時 期の前倒しを検討する。

## (ライフライン)

種別、老朽状況、安全性、教育研究への影響度を考慮して総合的に優先度を判断する。種別による優先度は、受変電設備、受水槽設備、中央熱源方式の空調設備を高く設定し、優先的に更新を計画する。

## 4-2 劣化状況評価

優先順位検討における評価指標の一つとなる建物の老朽化状況を把握するため、3年周期で劣化状況を確認し評価を行う。

劣化状況の確認は、「5-2 点検・診断」で実施する各種調査等の結果を活用することとし、劣化状況の評価は平成29年3月文部科学省により策定された「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(以下、「解説書」という。)を参考として、屋根・屋上、外壁・外部建具、内部仕上げ、電気設備、機械設備の部位毎にA・B・C・Dの4段階評価とする。

また、建物の総合的な劣化状況を数値化した評価指標として、部位毎の評価点に不具合発生時の安全性や支障具合を考慮した評価係数を乗じて健全度を算出する。

## 評価基準

評価	屋根・屋上、外壁・外部建具 (目視による評価)	内部仕上げ、電気設備、機械設備 (経年による評価) ※新営又は大規模改修後
Α	概ね良好	経年20年未満
В	部分的に劣化(安全上・機能上問題なし)	経年20年~39年
С	広範囲に劣化(安全上・機能上不具合発生の兆し	経年40年以上
D	早急に対応する必要がある (安全上・機能上問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている)	経年に関わらず著しい劣化がある

## ①部位の評価点

## ②部位の評価係数

i	評価	評価点
	Α	100
	В	75
	С	40
	D	10

部位	不具合発生時の影響	係数						
屋根 屋上	・雨漏りの他、躯体劣化や設備故障に繋がる。	2.0						
外壁 外部建具	<ul><li>・雨漏りの他、躯体劣化や設備故障に繋がる。</li><li>・外壁剥落等による事故発生の恐れがある。</li></ul>	2.0						
内部仕上げ	・他部位に比べると使用上の支障は少ない。	1.0						
電気設備	・照明・電源等の故障により支障が生じる。 ・漏電等による事故発生の恐れがある。	1.5						
機械設備	・漏水や空調故障により使用上の支障が生じる。 (漏水の場合、設備故障に繋がる)	1.5						

## 3健全度

健全度=総和(①部位の評価点×②部位の評価係数)÷8.0

- ※100点満点とするため評価係数の合計値(8.0)で割り戻している。
- ※数値が大きいほど建物の健全度が高いことを示す。

## 広範囲に、破断、損壊、下地露出、幅広のひび割れがあり、 最上階天井に漏水が複数箇所ある。 広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損壊があり、 最上階天井に漏水が複数箇所ある。 広範囲に、損壊、幅広のひび割れ、排水不良があり、 最上階天井に漏水が複数箇所ある。 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、 最上階天井に漏水が複数箇所ある 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、 最上階天井に漏水が複数箇所ある。 光化 0 広範囲に、ふくれ、しか、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、 土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕があ る 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、 土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、維草、目地シーリングの損傷が見られ、 最上階天井に漏水痕がある。 広範囲に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング村の ひび、取付金物のさび、部分的な腐食・損壊があり、 最上階天井に漏水痕がある。 O 部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。 部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、金物のさびがあるさが、 がある。 部分的にふくれ、しわ、 変質(スポンジ状)、排水 不良がある。 部分的に、ふくれ、変質 (摩耗)、排水不良がある。 部分的に、ふくれ、しわ、 変質(摩耗)、排水不良 がある。 $\mathbf{m}$ 良好 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) (汚れている程度) (改修後10年以内) (汚れている程度) (改修後10年以内) (汚れている程度) (改修後10年以内) (汚れている程度) (改修後10年以内) 4 Dの4段階で評価する。 評価 アスファルト 保護防水 アスファルト露出防水 塗膜防水 金属板 (長尺、 折板、 平葺き) ポープ・大学 仕様 ن 現状として、降雨時に複数箇所で雨漏 ✓ 最上階の天井において、降雨時やその で、最も低い部分で、土砂などが溜ま 翌日の雨漏りがないか。または、雨漏 リが原因と思われるシミやカビがない 金属屋根においては、錆・損傷・腐食 りやすくなっており、ここが詰まると 屋上に水溜りができてしまい、 劣化が 屋内運動場の屋域は、容易に登れない 場合は隣接する校舎の屋上等から観察 同じいつに劣化が進行する可能性があ を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以 は改修済でも、天井ボードは既存のま まとなっている学校が多く、見極める 上記のような劣化事象の箇所数を記入 ノリーフドフイン (屋上排水口) や排水 目視だけでなく歩行により、浮きや水 1箇所の劣化事象だけでなく、全体の 他の場所でも りしている場合をD評価とする。判断 溝は、緩い勾配がつけられている屋上 LをD評価とする。ただし、屋上坊水 á 防水面において、膨れ・剥がれ・破 パレペットローン部分の路大路部分 る場合は評価を1段階引き下げる。 進み、漏水が発生する恐れがある。 目視状況を写真事例に照らしてA、 ぶくれ等がないか確認する。 剥がれ等が無いか確認する。 れ・八聞きなどがないか。 現状のまま放置すると、 経年状況等を踏まえる。 《点検の留意点》 などがないか。 《点検項目》 《解説》

## ·価基準:外壁

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好

劣化

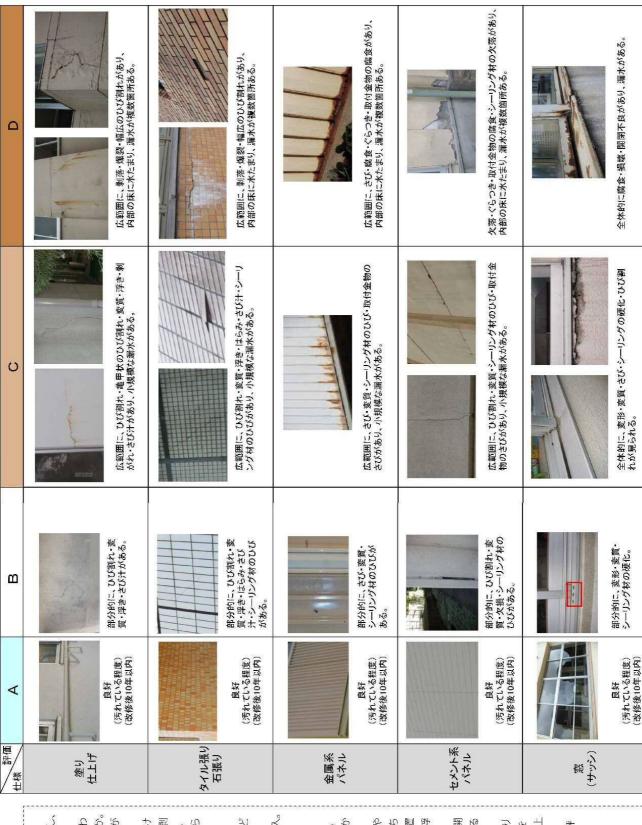
## 《解説》

## 《点校項目》

- 外壁において、コンクリートが剥落し、 鉄筋が露出している箇所はないか。
- ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないが。 また、降雨時や翌日に床面に水溜りができてないか。
  - ✓ 外装材(モルタル・タイル・吹き付け 材などの仕上げ材)の亀裂、浮き、剥 離、ひび割れ及び破損などがないか。
- ・ 建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐら つきなどがないか。
  ・ 窓枠と外壁との楽間に施されている シーリング材に硬化、切れ、剥れなど
- がないか。
  ・上記のような劣化事象の箇所数を記入。

## 《点検の留意点》

- イ 月視によって外壁の状況を確認する。 大きな損傷、変形、腐食などがないが を確認する。
- ✓ 外壁のタイル、モルタルなどに剥落や ふくれ、浮きを発見した場合は、直ち に、周囲に立ち入りできないよう措置 を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
- スチールケッシは、錆の影響による開 閉不良・鍵の破損等について確認する 必要がある。
  - イスボルのの。 イ現状として降向時に複数箇所で雨漏り している場合をD評価とする。判断を 雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上 をD評価とする。
- ✓ 鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評



部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

CまたはDの事象(例)

	d	۸	Č
	7	١	₹
			Ä
9	ī	ŀ	ŝ
ï	ñ	i	i
ï	ï	H	ī
į,	ò	4	E
ĸ.	9	В	Ę
			è
	ø	٧	7

内部仕上と設備は修繕・改修や点検の 履歴を基に、経過年数により4段階で評 価することを基本とする。ただし、現地 目視により、右負にあるような事象があ れば、それらも

お果して

然合的に

評価

す

対象となる部位、及びC/D評価に該 当する事象例を右表に示す。

## 《点核理日》

- クリートの亀裂やボード類の浮きや損 ▶ 内部においては、床・壁・天井のコン 傷などがないか。
- ▼ 大井ボードの猫下や不ツートの割がれ などにより安全性が損なわれていると ころがないか。
  - → 設備機器においては、機器や架台に は・損傷・腐食などがないか。
- ★ 給水設備においては、使用水に赤水や ✓ 設備機器に漏水・漏油などがないか。
- 機器から異音はしていないか。 異見がないか。

受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、 学校施設の共用設備のため対象外とする。

電気設備

✓ 保守点候や消防の査察などで是正措置 等の指摘がないか。

## 《点検の留意点》

- ✓ 目視によって状況を確認する。大きな 損傷、変形、腐食などがないかを確認
- 受変電設備等の高圧機器は、フェンス の外から目視により確認する。
- 目視で評価する場合、複数台あるうち、 1台の機器の劣化事象だけで判断する のではなく、設備全体として評価する。 施設管理者からのヒアリングも有効。

## ●内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った 広範囲(25%以上の面積)または随所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段 ・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事 改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 特定の数室のみの改修 階下げることを目安とする。 (対象外の工事の例) (対象外の工事の例) 床仕上げの剥がれ 照明器具、衛生器具、冷暖房器具 室内表示、手すり、固定家具など 該当する部位 ● 内部開口部(扉、窓、防火戸) 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱電設備) 床、壁、天井 内 年 七

建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって 行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。

天井村の落下・剥がれ

床のひび割れ

- ・受変電設備の更新
- ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新

## (評価例)

・視聴覚室やコンピューター室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過して いる場合は、C評価

# 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・

機械設備 | 受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ボンプ、機械設備 | 屋外配管は、共用設備のため対象外とする。

## にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) 部分的な修繕等

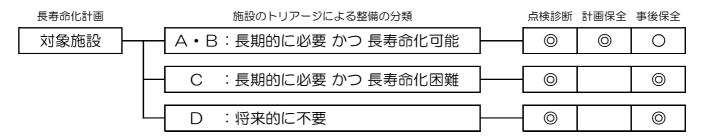
建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)

・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過してる場合は、C評価 給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価

## 5. 対策内容と実施時期

## 5-1 対策内容

建物の対策内容は次表による。なお、将来的に不要と位置付けた建物については、廃止・取壊しまでの間の不具合は最小限の事後保全により対応する計画とする。



※事後保全における「◎」は、主たる保全手法が事後保全であることを示す。

## 5-2 点検・診断

点検・診断については法定点検、国土交通省告示第282号を参考とした点検、定期および随時の施設パトロール等によりインフラの状態を把握し、劣化・損傷の程度に応じて詳細な調査を行うこととする。点検内容と実施時期は次表とする。

点検・調査			Ⅰ期 ※西暦(年度)												
			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27		
	建築物		0			0			0			0			
建築基準法第12条に基づく定   期報告	防火設備	_	_	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
/WTK L	昇降機等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
国土交通省告示第282号を参	外壁、防水							0							
考とした点検	吊り天井等		0				O								
消防法に基づく消防点検		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
電気事業法に基づく自家用電気工作物点検			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
施設パトロール		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

<sup>※</sup>建築基準法第12条に基づく定期報告(12条報告):

本学における建築物の報告対象は病院に限られており、報告年度は宇部市の指定による。

※国土交通省告示第282号を参考とした点検(非構造部材点検):

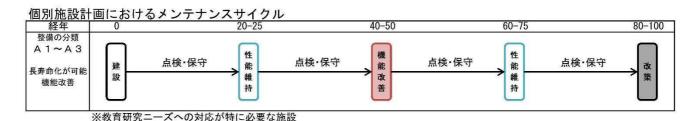
外壁・防水・大空間の吊り天井等非構造部材を点検対象として3年計画で実施する。 ただし、新増改築・大規模改修・性能維持改修を実施後、整備範囲の初回点検は省略する。

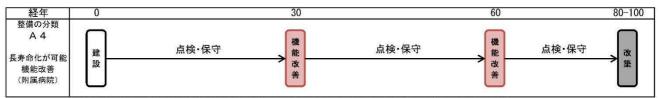
## 5-3 修繕・更新

## 【建物】

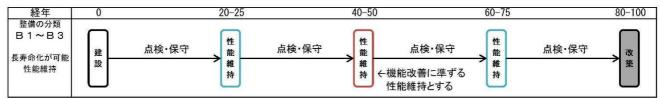
従来の事後保全型修繕から予防保全型修繕への転換によりインフラの長寿命化を図る。

長寿命化が可能な建物の供用年数は建設後80~100年(プレハブや小規模な木造等は40年)を目標とし、供用期間中における対策内容と実施時期の想定(本学においてインフラ長寿命化への転換を図るための標準的なメンテナンスサイクル)は次表とする。

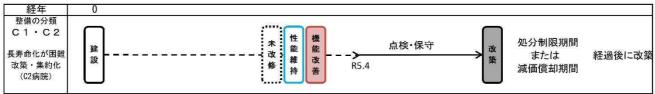




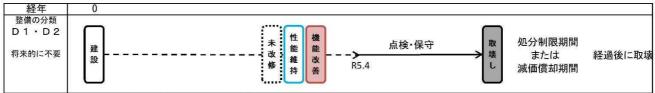
※附属病院:医療技術の進歩や多様な患者ニーズに対応するため機能改善サイクルを30年とする
※動物実験施設:研究ニーズの変化や劣化が進行しやすい特殊施設であるため機能改善サイクルを30年とする



※用途・規模等より、特に機能強化を必要とせず、物理的な性能維持を中心とする施設



※劣化状況や構造等により、改修では活用が困難な施設



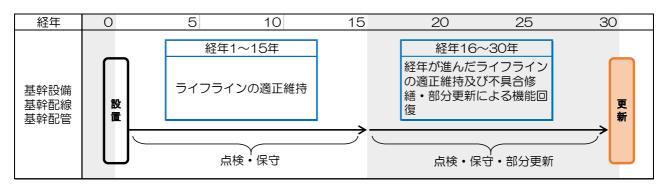
※最低限の安全性を確保の上、取壊し時期までは事後保全により対応

目的	(性:	能維持)経年劣化に対する機能回復
実施時期		供用期間の1/4及び3/4の時期
実施財源		主に大学予算で実施
	屋根	金属屋根・軒とい・軒板等の劣化補修、 トップコート塗替又は塗膜防水
	屋上(防水)	防水シート・ルーフドレン周囲・シーリン グ等の劣化補修、トップコート塗替又は防 水シート全面増張り
対策 内容	外壁	クラック・浮き・剥落・鉄筋腐食等の劣化 補修、シーリング打替、トップコート塗替 又は部分改修
	建具	不具合ヶ所の補修
	内装	不具合ヶ所の補修又は部分改修
	設備器具	不具合ヶ所の修理又は部分更新

(性能維持	
(機能改善	)教育研究診療等の変化に対する機能向上
	供用期間の2/4の時期
	主に施設整備費補助金で実施
屋根	撤去新設又はカバー工法により新設
屋上 (防水)	撤去新設又は防水シート全面増張り
外壁	下地劣化部補修の上、全面改修
建具	高性能建具に更新又は複層ガラスに更新
内装	間仕切り変更を含む全面改修
電気設備	配電盤や配線更新を含む全面改修
給排水設備	受水槽や給排水ガス管更新を含む全面更新
空調設備	空調・換気設備の全面更新
トイレ改修	車椅子対応トイレの整備や乾式化・洋式化 を含む全面改修
省エネ改修	屋根・外壁の断熱改修、複層ガラス・高交 率照明・節水器具・高効率空調への更新

## 【ライフライン】

供用年数は設置後30年を目標とし、供用期間中における対策内容と実施時期は次表とする。



## 6. 整備計画の策定方針

## 6-1 整備計画

本学のインフラの整備にかかる中長期的な必要コストを把握するため、「5-3 修繕・更新」で 示すメンテナンスサイクルに基づき整備計画を作成する。

現時点では未改修のまま整備時期を過ぎた建物が多数存在する状況であり、また、キャンパスの移転統合等により建物建設時期にも偏りがあることから、特定年度に整備予算・整備量が集中しており、メンテナンスサイクルを着実に実施するためには整備予算・整備量の平準化が必要である。

※大規模改修の優先順位は、「4-1 優先順位の考え方」に記載したとおり施設環境委員会により審議し決定するものであるが、中長期的な必要コストを把握するため、整備計画を作成する上では、経年による標準的な整備時期を目安に計上した。

## 6-2 計画区分

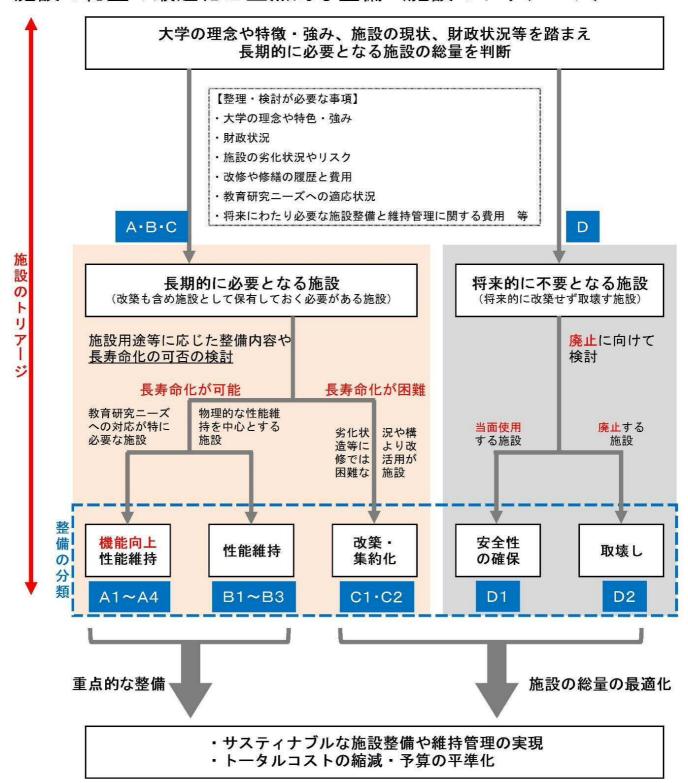
整備計画は次表の計画区分毎に策定する。

計画区分	備考
建物	教育研究施設、附属病院、学生寄宿舎、職員宿舎
ライフライン	基幹設備、ライフライン

## 6-3 施設のトリアージ

整備計画の作成においては、より実効性の高い整備計画とするため、施設のトリアージにより建物 ごとの整備の分類を峻別し必要額の精査を行う。また、将来的に不要となる施設を明確にすること で、施設にかかるトータルコストの縮減及び将来的な保有施設の総量の抑制を目指す。

## 施設の総量の最適化と重点的な整備(施設のトリアージ)

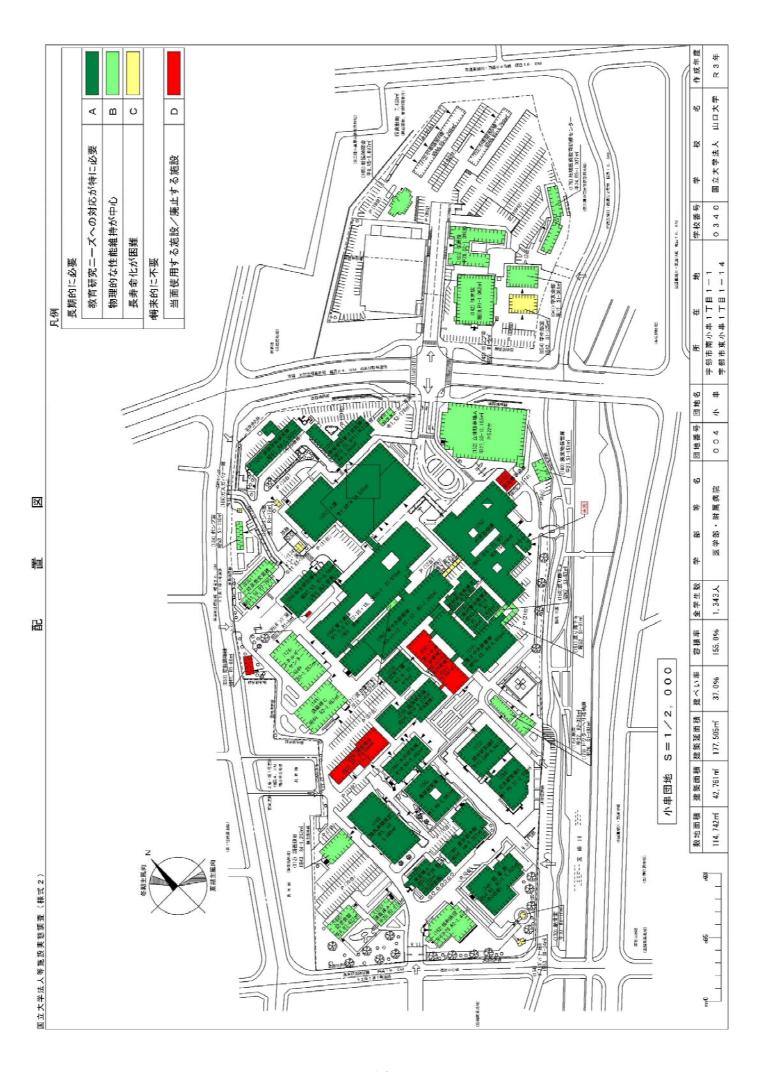


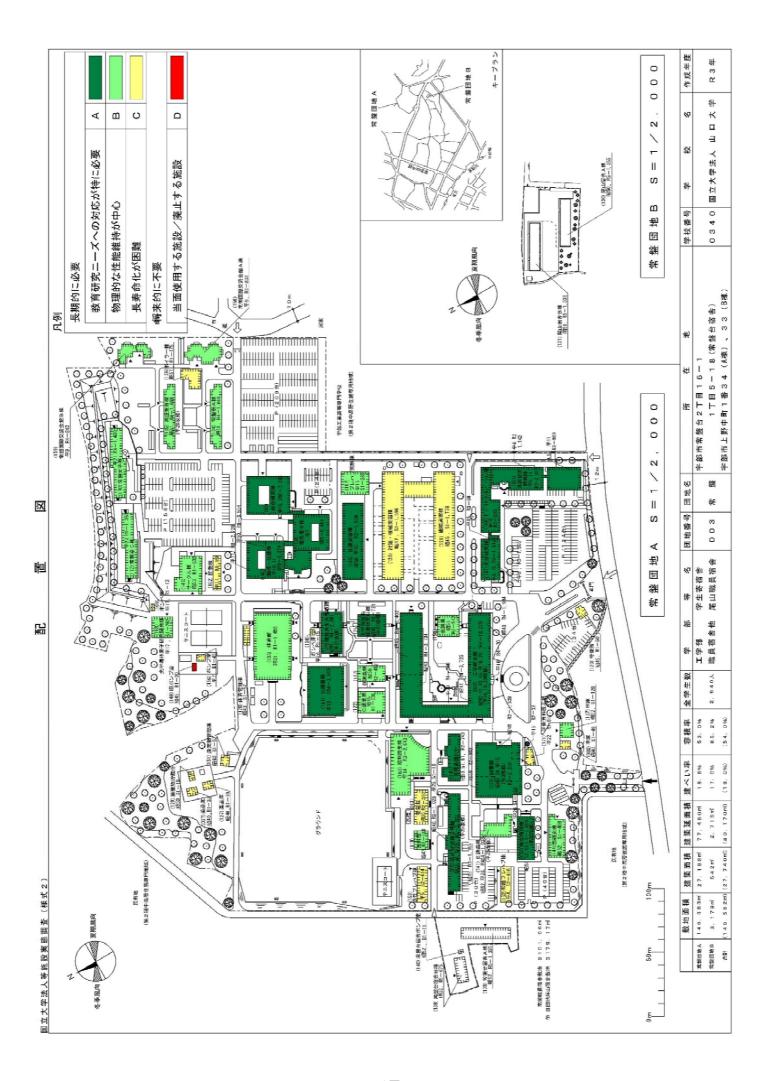
※これまで十分な改修や維持管理がなされず劣化した施設は、必要性等を慎重に検討

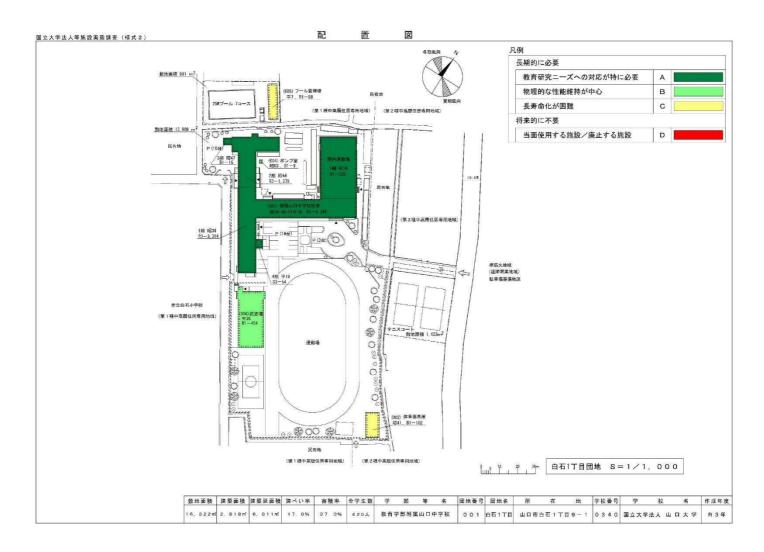
※C1・C2:適正規模等について慎重に検討

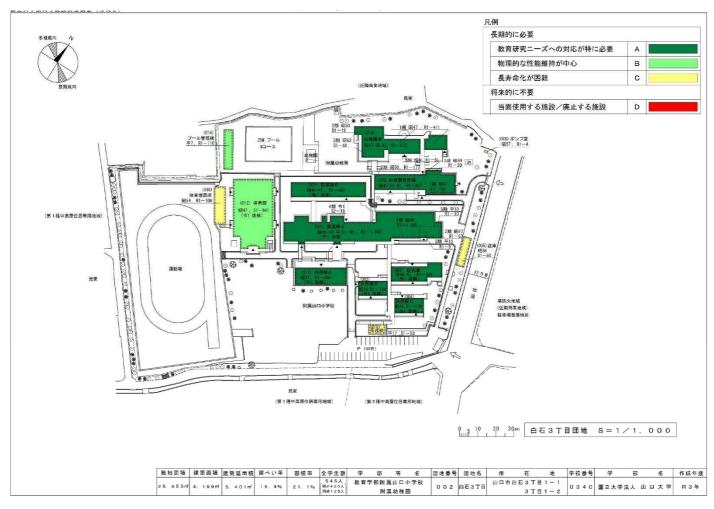
※D1:最小限の範囲

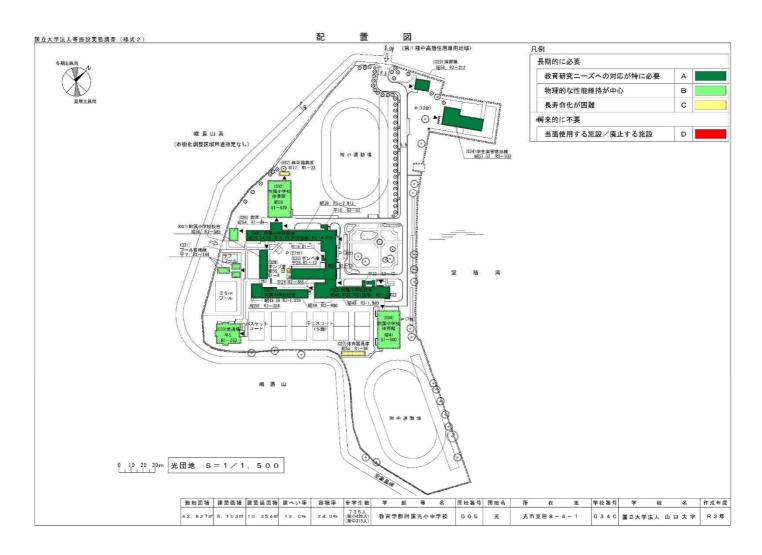


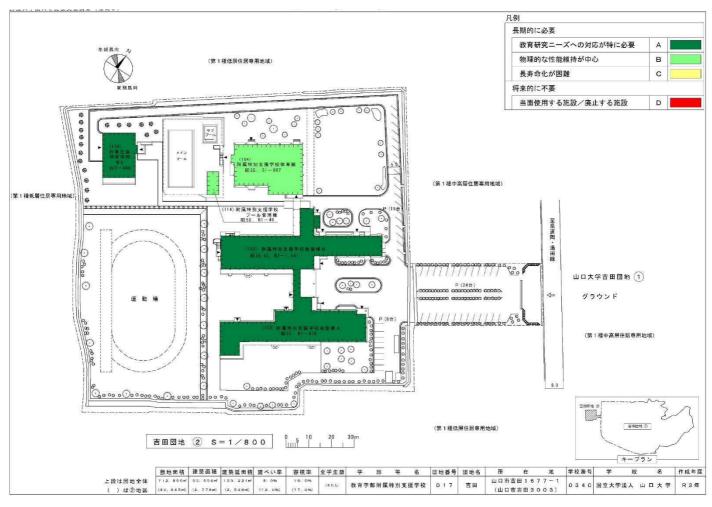












## 7. 対策費用

## 7-1 中長期的な必要コストの見通し

山口大学インフラ長寿命化計画における中長期的な必要コストの見通しは次表のとおりである。

		教育研究施設	附属病院	学生寄宿舎	職員宿舎	計(億円)
	大規模改修	216.2	141.7	5.1	0.0	363.0
建物	性能維持改修	48.4	2.9	3.4	0.4	55.1
(長寿命化)	改築	316.7	3.9	25.8	3.1	349.5
	計	581.3	148.5	34.3	3.5	767.6
ライフライン	更新	_	_	_	_	81.2

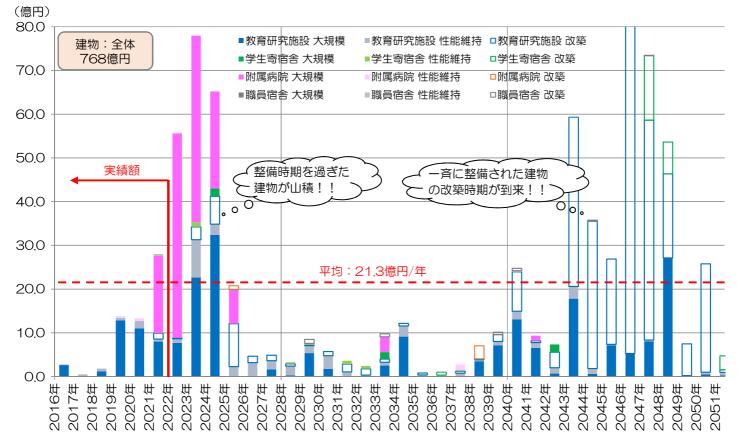
<sup>※</sup>上記金額には2016~2021年度までの整備実績額(※純増となる新築は除く)及び 計画対象外施設の取壊し費用を含む。

## 【建物】

2016年度~2051年度までの36年間で必要となる大規模改修・性能維持改修・改築費について、長寿命化方針に基づき試算した結果は、約768億円(大規模改修363億円、性能維持改修55億円、改築350億円)となった。

従前の改築中心で試算(H29.3行動計画策定時の試算額:25年で大規模改修、50年で改築)した結果は、約1394億円(大規模改修399億円、改築995億円 ※2016~2045年度までの30年間)であり、長寿命化への転換を図ることによりトータルコストの大幅な縮減が見込まれる。

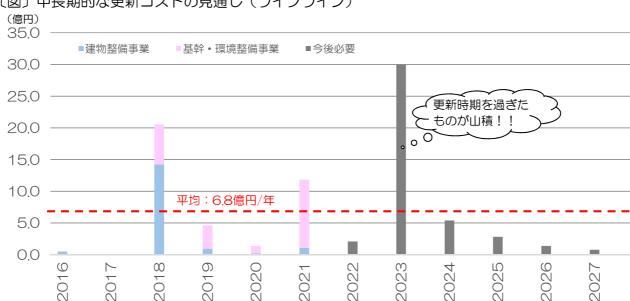
## 〔図〕中長期的な必要コストの見通し(建物)



<sup>※</sup>改築費は、改築時の保有面積縮減を考慮していない。

## 【ライフライン】

2016年度~2027年度までの12年間で必要となる基幹設備・ライフラインの更新費について、 長寿命化方針に基づき試算した結果は、約81.2億円(※建物整備事業で整備・更新した費用を含 む)となった。



## 〔図〕中長期的な更新コストの見通し(ライフライン)

## 7-2 財源区分

本計画におけるインフラ整備・維持管理のための整備内容毎の主な財源は次表のとおりである。

	教育研究施設	附属病院	学生寄宿舎	職員宿舎
新増改築	施設整備費補助金	施設整備費補助金	長期借入金	長期借入金
大規模改修	施設整備費補助金	施設整備費補助金	長期借入金	長期借入金
性能維持改修	大学運営費	病院収入	寄宿舎収入	宿舎収入
部分改修	大学運営費	病院収入	寄宿舎収入	宿舎収入
修繕	大学運営費	病院収入	寄宿舎収入	宿舎収入
ライフライン更新	施設整備費補助金	施設整備費補助金	寄宿舎収入	宿舎収入
ライフライン修繕	大学運営費	病院収入	寄宿舎収入	宿舎収入

<sup>※</sup>大規模事業(新増改築・大規模改修・ライフライン更新等)は、施設整備費補助金を基本とする。 ただし、附属病院の事業については、施設整備費補助金(1割)+財政融資資金(9割)。

- ※施設費交付金(大学改革支援・学位授与機構)は、交付が令和9年度までの予定であるため省略。
- ※寄付金やその他の自己収入は、施設整備全般に使用する。

新増改築・大規模改修・ライフライン更新等の大規模事業については、施設整備費補助金に依存し ている状況であるため、予算の措置状況により適宜計画を見直す必要がある。

建物の長寿命化への転換を図るために重要となる性能維持改修(計画保全)については、大学予算 (大学運営費、病院収入、寄宿舎収入等)を主財源として実施することとなるため、予算の確保に努 める必要がある。

## 7-3 性能維持改修の必要額

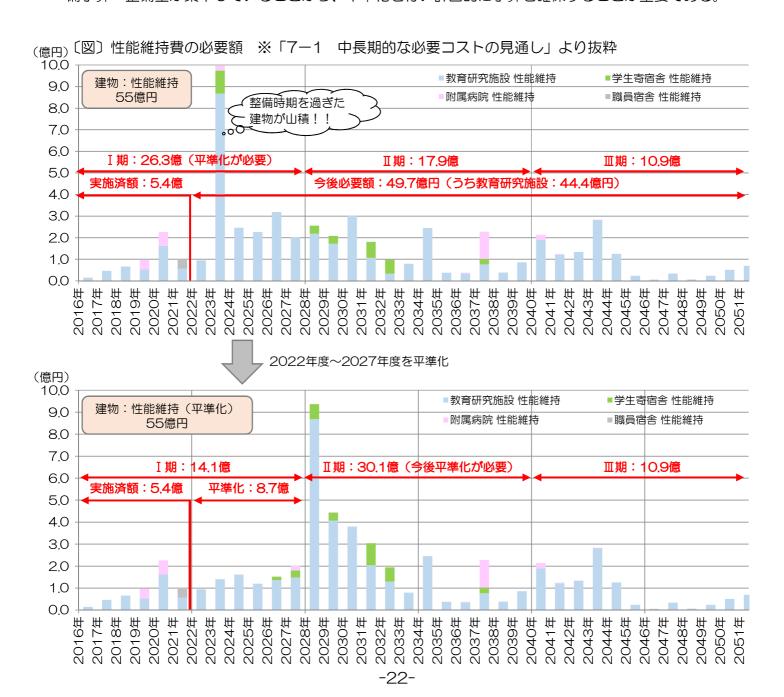
性能維持改修の必要額(性能維持費)は、「7-1 中長期的な必要コストの見通し」において、中長期的に約55億円必要なことを示しており、その内訳は次表のとおりである。

性能維持費	教育研究施設	附属病院	学生寄宿舎	職員宿舎	計(億円)
必要額総額:2016-2051	48.4	2.9	3.4	0.4	55.1
実施済額 : 2016-2021	4.0	1.0	0.0	0.4	5.4
今後必要額:2022-2051	44.4	1.9	3.4	0.0	49.7
年間必要額:2022-2051	1.5	_		_	_

※教育研究施設以外は、対象となる建物数や必要額が少ないことから年額を算出しない。

性能維持改修は、教育研究施設は大学運営費を、附属病院は病院収入を、学生寄宿舎は寄宿舎収入を主財源として実施するため、整備計画に合わせてそれぞれの予算を確保する必要がある。

特に教育研究施設は、必要額が性能維持改修費全体の約9割を占めており、また、特定の年度に整備予算・整備量が集中していることから、平準化を行い計画的に予算を確保することが重要である。



## 7-4 保有面積の抑制

新増改築・大規模改修・ライフライン更新等の大規模事業は、施設整備費補助金に依存した状況となっている。また、性能維持費についても大学予算への影響が大きい。今後ますます大学の財政状況が厳しくなっていくことを想定すると、現在の施設規模を維持し続けることは困難と言える。

2040年代には各学部主要建物の改築時期が到来することから、改築時には施設・機能の集約化等により保有面積を縮減することを原則として、持続可能かつ適切な施設規模を目指すこととする。

## 【目標】令和4年度を基準として将来的に20%の保有面積縮減を目指す

- ※附属病院を除く
- ※既存施設を外部(民間企業や自治体等)に貸付けた場合も縮減面積に含める

上記の目標を達成するために、施設のトリアージの更なる推進により「将来的に不要な施設」や「大学が自ら保有する必要のない施設」等を精査し、用途廃止やPPP等による整備・学外施設の借用等を推進する。また、建物改築時には「類似機能や分散施設の集約化」や「スペースの共有化」等を図ることとし、既存建物より面積を10%縮減することを原則とする。

## 7-5 教育研究施設における性能維持費の確保状況

教育研究施設における性能維持費の確保状況は次表のとおりである。

## 教育研究施設における性能維持費の確保状況

		\	
	現在の計画保全対象面積から算出した額		1.5
年間必要額	↓		$\downarrow$
	将来的に2割程度の保有面積縮減を目指すことを前提とした	-額	1.2
	施設整備費補助金(長寿命化促進事業)	0.3	
70 C C 2 2 65	施設費交付金(R9年度まで)	0.2	
│確保見込み額 │(令和5年度~)	大学運営費(施設環境部予算)	0.1	1.2
	多様な財源(土地活用等による外部資金の獲得)	0.2	
	学内予算配分・スペースチャージ制度の見直し	0.4	

(単位:億円)

個別施設計画(平成31年3月)の策定以降、学内予算配分・スペースチャージ制度の見直し、土地活用等による外部資金の獲得等に取り組んできた結果、性能維持費の確保見込み額は、個別施設計画策定時の約0.65億円から約1.2億円へと増加した。

一方で、施設費交付金の交付は令和9年度までとなっており、現状のままでは令和10年度以降は確保見込み額が約1.0億円(▲0.2億円)となることから、今後も継続して多様な財源の獲得等、実行財源の確保に努める必要がある。

## 8. 整備計画

【建物】整備計画( I 期:2016年度~2027年度)は次表のとおり。

								建物	面積	1	大	規模改約	*歴						F度末)	ク (H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
団地名	計画対象建物	整備の分類	棟番号	棟名称	建築面積	建築年	構造	建物面積計	棟計	全面改修	性能維持改修		部分改作 屋根 防水	内部	屋根・	か壁・外 日音 化	内部 年 気設	機械		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	物														屋上	部建	上催	備													
白石 1 白石 1	1	A1		附属山口中学校校舎 附属山口中学校校舎	2, 155	1959 1971		3, 999 1, 279	5. 348 0	0	2008 2008	2008 2008	2008 2008	0	А	C	0	C	<b>55</b>		- 1	照明	-60-	トイレ			〇大規模	〇大規模			
白石 1 白石 1		A1 A1	1	附属山口中学校校舎 附属山口中学校校舎	0	1972 2008	В	16 54	0	0			2008	0	H			H										〇大規模			
白石1	1	C1	2	体育器具庫	102	1966	В	102	102		0	0	2010		C		0 0			-50-				146						-60- -40-	
白石 1 白石 1	1	C1	5	ポンプ室 プール管理棟	98	1988 1995	R	98	98	0	0	0	0	0	В	A I	B E	В	=81										-30-	-40-	
白石1	1	B1		武道場 教室棟A	454 1, 130	2014 1971	R	454 1, 841	454 1, 942	2020	0	2020	2011	_		A							大規模		-50-			-10-			
白石3 白石3		A1 A1		教室棟A 教室棟A	0	1972 1998		63 19	0	2020 2020	0	2020 2020	2011	2020									大規模 大規模								
白石3 白石3	1	A1		教室棟A 研究棟	0 224	2020 1971		19 160	0 224	2020	0	2020	2020	2020	В	Α,	A A	A	=94			外壁	大規模 大規模		-50-						
白石3	1	A1	2	研究棟 共用棟B	128	1972 1971	R	64 128	0	2020	0		2020 2020	2020					=94			外壁 外壁	大規模								
白石3	1	A1 C1	4	共用棟 C 倉庫	128	1971 1981	R	128	128	2020	0	2020	2020		В	A A	ДД	A	=94		- 10	外壁	大規模		-40-						
白石3	1	C1	6	体育器具庫	106	1979	R	106	106	0	0	0	0		D	C	D C	C	- 29				1.000								
白石3 白石3	1	A1 A1	7	教室棟B 教室棟B	330 0	1971 1972	R	596 64	660 0	2020	0		2020 2020			Α /							大規模 大規模	c.	-50-						
白石3 白石3	1	C1 A1		ポンプ室 幼稚園管理棟	407	1982 1972		159	407	0	2008	2008	2008	0		C	0 0									-40- -50-		〇大規模			
白石3 白石3	~	A1		幼稚園管理棟 幼稚園管理棟	0	1975 1986		197 51	0	0	2008 2008	2008 2008	2008 2008	0														〇大規模 〇大規模			
白石3 白石3	1	A1		幼稚園舎 幼稚園舎	473 0	1972 1975		411 18	473 0	0	0	0	0	0	С	D (	C	C	33							-50-	〇大規模 〇大規模				
白石3	1	A1	10	幼稚園舎 共用棟A	0 264	1988 1962	S	44 264	0 264	2020	0	2020	2020	2020	R	Δ	Δ Λ	A .	=94				大規模			-60-	〇大規模				
白石3	1	B3 B1	12	体育館 プール管理棟	785 110	1972 1995	S	841 110	841 110	2020	0	2020	2020			A		A	100				大規模			-50-			-30-		
白石3	1	C1	15	ラール管理様 事務様 総合研究棟2号館	50	2005 1960	S	50	50	0	0	0	0	0	Α	Α ,	А А	A	100					-60-					-30-		
常盤	E	A1 A1	10	総合研究棟 2 号館	732	1971	R	1, 165 1, 028	2, 203 0	2013 2013	0		2013	2013 2013	Α	В	AA	A	-94					-60-							
常盤	1	A1 C1	13	総合研究棟2号館 ブルーエナジーセンター棟	265	2013 1961	R	10 310	0 310	0	2006	2006	2006	0	Α		СС								-60-					☆改築	
常盤	1	C1 A1		車庫 工学部本館	3, 509	1965 1965		49 1, 984	49 0	2004	0	2004	2004	2004	С	C	CC	C	=40										☆改築		
常盤	1	A1		工学部本館工学部本館	0	1966 1968		3, 725 3, 734	13. 275 0	2004 2008	0	2004 2008	2004 2008	2004 2008	В	C	A A	A	=79	-50-										-60-	
常盤		A1 A1	32	工学部本館工学部本館	0	1970 2004	R	3, 402 70	0	2007	0	2007	2007	2007				İ													
常盤		A1	32	工学部本館	0 33	2008	R	360 33	0	0	0	0	0	0	_	0 1	0 0		=40										a ne dir		
常盤	1	B1	119	薬品庫 資料館	140	1968	R	140	140	2012	0	2012	2012	2012	Α	C	A A	A	=40 =85			-50-							☆改築		
常盤	1	C1	121	体育管理棟 機械実習棟	52 1,584	1968 1970	S	52 1, 776		0		2009			D	В (		C	41			-50-						会改築	台改築		
常盤	1			C講義棟 守衛所	336 50	1970 1970	R	336 50	336 50	0	0		2011		C		0 0						外壁/内部	外壁 -50-							
常盤	1			環境共生系専攻棟 大学院技術経営研究科棟	543 373	1970 1970		2, 091 734	2, 091 734	2009 2010	0		2009 2010		A B	A A	A A							-50- -50-							
常盤	1			社建・機械実習棟 薬品庫	1, 344	1972 1971		1, 596	1, 596 30	0	2009		2009	0	A		0 0								-50-			☆改築	☆改築		
常盤	1	A2 A2	128	図書館図書館	1.364	1973 1984	R	1, 202 982	2, 216	2021 2021	0	2021 2021	2021 2021	2021 2021		Α ,						昇降機		大規模 大規模			-50-				
常盤	1	A2	128	図書館 廃棄物貯蔵所	0	2003 1975	R	32 19	0	0	2021	2021	2021	0	С	0 1	c c	C	=40				ļ	7.31,2					-50-		
常盤	1	D1	130	尾山宿舎A棟 尾山宿舎B棟	271	1975	R	1, 355	1, 355	0	0	0	0	0	С	D	C C	C	■33	40									-50-	廃止	
常盤	1	A1	132	知能情報棟	271 438	1976 1976	R	1, 355	1, 355 2, 695	2010	0	2010	2010	2010	A	B /	A A	C		-40- -40-										廃止 -50-	
常盤	1		133	知能情報棟 体育館	1, 456	1977 1976	RS	1, 381 1, 456	1, 456	2010	0	2010	0	2010					<b>64</b>	-40-							〇大規模			-50-	
常盤	1			常盤寮 A 棟 常盤寮 B 棟	417 417	1976 1976		1, 668 1, 668	1, 668 1, 668	2008	0	2008	2011	2008		D (			=48 =88	-40- -40-								〇大規模		-50 -50	
常盤	1		136	ボイラー棟車庫	175 120	1976 1977		175 120	175 120	0	0	0	0			D (				-40-	-40-									-50-	-50-
常盤	1			常盤台宿舎A棟 常盤台宿舎B棟	271 135	1977 1977		1, 355 675	1, 355 675				0			D (					-40- -40-							廃止 廃止			
常盤	1	D1	140	常盤台宿舎ポンプ室 E講義棟	11 260	1977 1977	В	11 872	11	0	0	0	0		С	C (	C C	C	=40 =94		-40- -40-							庚止			-50-
常盤	1	B1 A1	141	E講義棟 情報基盤センター棟	0 382	2014	S	166 468	743	0	0	2023	2020	0					=64			-40-		防水		大規模					
常盤	61	A1	142	情報基盤センター棟	0	1982 1986	R	240 35	0	0	0	2023		2023	^			, ,	-04			-40		防水	ļ	大規模					
常盤		B1	143	情報基盤センター棟 サークル棟	502	1978	R	502		2002	0	2002	2002	2002								-40-		防水	20/20/20/20/2	大規模		〇大規模			
常盤		B1	147	西研究棟 B講義棟	408 248	1977 1981	R	408 452	452	0	0		0	0	В	В (	C C	C	=55 =58		-40- トイレ				-40-			〇大規模 〇大規模			-50-
常盤	1	A1	148	社建実習棟 社建実習棟	934	1981 2003	R	1,510 89	0	0	0	0	2014 2014	0		в (									-40-		〇大規模 〇大規模				
常盤	1			旧ポンプ室 会議棟	20 271	<i>1970</i> 1984	R	20 542	542	0	0	0	0 2018	0	Α	C (	ВЕ	В	=81			防水		-50-		☆取壊		-40-			
常盤	1	C1	151	廃棄物管理棟 知能ブレハブ棟	52 208	1988 1992		52 416	52 416	0			0	0	В	BE	ВЕ	В	<b>75</b>			-30-							会改築		
常盤	1		153	感性ブレハブ棟 共同研究開発棟	207 1.119	1993 1994	S	414 1, 142	414	0			0	0	А	B	ВВ	В	=81							△性能維持		-30-	☆改築		
常盤	1	A1	154	共同研究開発棟 電気電子棟	993	1999 1995	R	869 6, 451	0	0	2021	2021		0	А							防水		性能維持					-30-		
常盤	1	C1	156	ポンプ室	45 558	1995	В	45 1, 503	45 1, 572	0	0		0	0	В	В	ВВ	В	75	_20_				## DE ## SE					-30-	-30-	
常盤	E	A1	157	先端研究棟 先端研究棟	0	1996 2003	R	69	0	0	0	0	0	0					=88	-20-		空調		性能維持						-30-	
常盤		B1	159	常盤国際交流会館 A 棟 常盤国際交流会館 B 棟	320 241	1997 1997	R	830 843	830 843	0	0	0	0	0	В	A	ВБ	В	=81		-20- -20-										△性能維持 △性能維持
常盤	1	A1	160	機械・社建株 機械・社建株	796 0	1998 1999	SR	3, 554 2, 720	0	0	0	0	0	0		A						-20-				△性能維持		△性能維持			
常盤	1	A1	161	D講義棟 団欒棟	1, 160 162	2000 1999	SR	3, 963 162	3, 963 162	0			0			B E							-20-	-20-					△性能維持		
常盤	1	B1	163	福利厚生棟 ビジネス・インキュペーション株	1.166	2002	R	2, 643 990		0	0	0	0	0	А		A A	C	=66		空調			空調	空调	-20-	-20-	△性能維持			
常盤	1	A1	165	総合研究棟ボンベ庫	978 15	2003	SR	7, 195 15			0	0	0	0	В	A	A A	A	=94								-20-	-20-			
常盤	1	B1	167	プレハブ実験棟	389	2003	S	389	389	0	0	0	0	0	Α	A	A A	A	100								-20-	-20-	20		
常盤	1	C1	169	光半導体素子研究開発棟 ボンベ庫	262 13		R	262 13	13		0	0	0	0	Α	A	A A	A											-20- -20-		
常盤	1	C1	171	常盤女子茶 学術資料展示館	482 102	2009	R	1, 439 81	81	0	0	0	0	0	Α	A	Δ Δ	A					-10- -10-								
常盤	1	B1	172	常盤寮C棟	472	2015	R	1, 363	1, 363	0	0	0	0	0	Α	A	AA	A	100										-10-		

	94	救					建物	面積	Ť	大	規模改作	多歴 部分改(	4	化状	兄評価	(202	2年度オ	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 2025	R8年度 2026	R9年度 2027
団地名	計画対象建	整備の分類		建築面積	建築年	構造	建物 面積計	棟計	全面 改修	性能 維持 改修	外壁	屋根	内部	屋根・	内部	電視	<b>挺 健</b>	2016 目視・ 黒	2017 点検で評価	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	建物	類										防水	10000	屋根・屋上の名が	内部仕上	設備	全度	1000	2 25										
小串			16 実習棟B 16 実習棟B	688	1956 1977		345 339	684	0	0	0	0	0	C	C	С	C 40	-60-										☆取壊	
小串	1	D2 3	10 美自保口 11 資料管理棟 12 第 1 中央診療棟	1, 082	1971	R	88 2, 979	88 3, 041	0	1982	_	1982	_	C	100	-	C 40					-60-	-50-					☆取壊	
小串		D1 3	2 第 1 中央診療権 2 第 1 中央診療権	0	1987 1982	R	8	0	0	0	0	0	0				00												
小串	1	B1 3	5 特高受変電棟 5 特高受変電棟	568	1958 1983	R	413 382	795 0	0	0	-	0	-	C	С	С	C =40			-60-									
小串	1	B1 4	11 学友会館 4 学生部室	394 346	2000 1967	S	361 325	361 325	0	0	_	2011	0	BE		_	B =75 C =49		-50-			-20-							か改築
小串 小串	1		8 総合研究棟 C 8 総合研究棟 C	964	1968 1978		182 4, 893	5. 075 0	2020 2020	0	2020 2020	2020 2020		A	A	Α.	A =100			-40-	大規模 大規模	大規模 大規模							
小串	1	B1 1	13 小申宿舎 A 棟 15 講義棟 B	453 413	1969 1968	R	2, 265 1, 213	2, 265 1, 213	0	2008	2008		0	CI		C	C = 33			-60-	-50-								
小串		A4 1	16 放射線治療棟A 16 放射線治療棟A	726	1968 2003	R	354 428	782 0	2003	0	0	2003	0		3 A	A	A =94			-50-									
小串	1	D1 1	20 保健学科研究棟 22 小串宿舎B棟	695 383	1972	R	1, 780	2, 303 1, 780	2008	0	2009	2008	0	A /	C		A = 63 C = 70							-50-	-50-				
小串	1	B1 1.	24 エネルギーセンター 25 講義棟A	915 312	1974	R	1, 257 513	1, 257 518	0	0	0	2020	0	B C		A .				-40-	断水外型	防水外壁				〇大規模			
小串		A1 1.	25 講義棟A 27 実習棟A 27 実習棟A	572	2008 1977 2014	R	2, 146 77	2, 223	2014	0	- 7	0	-	D A	A	A	A =78		-40-					△防水		〇大規模			-50-
小串		A1 1	30 保健学科第2研究棟 30 保健学科第2研究棟	986	1978 1980	R	1, 937	3, 096	2009	0	2009	2009		C	A	A	A =70			-40-									
小串		A1 1	30 保健学科第2研究棟 34 ポンプ室	0	1999 1978	R	13	0	2009	0	2009			C	c	C	C =40	1		-40-									
小串	1	D2 1	35 ポンプ室 36 放射線治療棟B	349	1978	R	239	8 385	2003	0		2003		C (	C	C				-40-	-40-								
小串	- 20	A4 1	36 放射線治療棟B 37 第2中央診療棟	1,853	2014 1980	R	146 5, 934	6, 018	0	1998	0	1998	0	(00)0 60		C	C 40				36	-40-				〇大規模	〇大規模		
小串	3 3	A4 1	<ul><li>37 第2中央診療棟</li><li>39 臨床研究棟</li></ul>	1,090	1987 1981		9, 265	9, 274	0	1998 0	1998	1998	0	C	C	C	D = 34					大規模	大規模	〇大規模	〇大規模	〇大規模	〇大規模		
小串	1	A1 1	39 臨床研究棟 40 医学部本館	1,008	1988 1983	R	9 5, 207	0 5, 207	0	0		0	_	С		-	B =50								-40-	〇大規模			
小串	1	C1 1	42 体育館 43 ポンプ室	1, 129	1984 1984	R	1, 062 5	1, 062 5	0	0	0	0	0	A C	ВВ	В										-40- -40-			
小串		A2 1	44 図書館 44 図書館	1, 118	1984 1988	R	1, 182 770	1, 952	2021	0	2021	2021	2021	A			A =100					大規模				-40-			
小串	1	B1 1	45 講義棟C 50 渡り廊下 a	900	1985 1987	S	1, 657 57	1. 657 57	0	0	0	0	-	BBB	3 B	в	B = 66 B = 75		-30-	トイレ		無明	!	〇大規模	〇大規模	〇大規模	-40-		-40-
小串		A4 1	51 渡り廊下 b 52 外来診療棟	3, 380	1987 1987 1996	SR	91 10, 386	91 10, 697	0	0	-		2025		B		B =75 B =50		-30- -30-					〇大規模 〇大規模	〇大規模 〇大規模	〇大規模 〇大規模			-40- -40-
小串 小串 小串		A4 1	52 外来診療棟 52 外来診療棟 52 外来診療棟 (トリアージ)	0	2011	S	22 9 277	0	0	0	0	0	0										(0.2%	〇大規模	〇大規模	○大規模 ☆取坡			
小串		A4 1	52 外来診療様 54 ガスガバナー庫 b	0 24	2025	R	3 24	0 24	0	0	0	0	0	ВВ	2 8	В	B =75			-30-			増築			增築			
小串		A1 1	55 基礎研究棟 56 第1病棟	1.015	1989	R	5, 067 14, 746	5, 067 27, 979	0	0	0	2024	0	D	В	в	B =50 B =58				-30-		〇大規模	〇大規模	△防水				
小串		A4 1	56 第 1 病棟 56 第 1 病棟	0	1993 1997	SR	12, 289	0	0	0	2024	2024	2024										○大規模 ○大規模	〇大規模 〇大規模	〇大規模 〇大規模				
小串		A4 1	56 第 1 病棟 56 第 1 病棟	0	1999 2000	R	40 712	0	0	0		2024 2024	2024 2024		Н	ł	+					i I	〇大規模 〇大規模	〇大規模 〇大規模	〇大規模 〇大規模	ì			
小串 小串			56 第 1 病棟 56 第 1 病棟	0	2003 2007		40 28	0	0	0	2024 2024	2024 2024	2024 2024		H								〇大規模 〇大規模	〇大規模 〇大規模	〇大規模 〇大規模				
小串		1	56 第 1 病棟 87 渡り <u>廠下</u> 4	0	2019 1994	8	80	0	0	0	0	2024	0	//		1	//				)	取壊							
小串		A4 1	59 MRI棟 59 MRI棟	619	1990 1994	S	463 152	615 0	0	0	0	0	0				B =75					-30-					〇大規模 〇大規模		
小串	1	B1 1	60 臨床実験施設 福利施設	1, 485	1993 1994	R	5, 086 1, 392	5, 086 1, 412	0	0		0	0			B	B = 76								-30-	○大規模 -30-			△性能維持
小串	1	12	62 福利施設 83 渡り厳下4	0.50	2017	5/	20	1 007	0	0		0		//	/ /	-		新営			ļ <u></u>	取壊	ļ i					20	-10-
小串	1	A4 1	65 看護師宿舎 66 新中央診療棟 66 新中央診療棟	2, 425	1996 1997 1999	R	1, 097 5, 321 254		0	0	2023	2023	2023				B = 75 B = 58		-20-				ļ:	〇大規模 〇大規模	○大規模 ○大規模			-30-	△性能維持 -30-
小串		A4 1	66 新中央診療棟 66 新中央診療棟	0	2000	R	113	0	0	0	2023		2023			#								〇大規模	〇大規模	☆取壊			
小串		A4 1	66 新中央診療棟 67 渡り廊下g	0 83	2015	R	2, 066	0 83	0	0	0	0	0	C	В	В	B =58		-20-							☆改築	-10-		
小串	1	B1 1	68 記念会館 69 共同研究棟	330 737	1997 1998	R	627 3, 492	627 3, 492	0	0			0		BBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBBB		B =66 B =58		-20-	-20-					△性能維持				-30-
小串			70 納骨堂 71 渡り廊下h	17 57	1998 1999		17 57	17 57	0			0			B B					-20-	-20-		í	〇大規模	〇大規模	〇大規模			
小串		A1 1	73 総合研究棟B 73 総合研究棟B	877 0	2003 2019	SR	6, 413 28	6, 441 0	0 0	0	0	0	0		A					增築		ı	空調		-20-		-		△住能維持
小串	1	B1 1	74 ボンベ庫 75 車庫	39 179	2010	R	39 321	321	0	0	0	0	0	A	A	A	A =100				-10-	-10-							
小串	1	D1 1	76 地域医療教育研修センター 78 薬剤部事務棟	160	2012	S	1, 937	1, 937	0	0	0	0	0	A	A	A								-10-	-10-	12			
小串	1	B1 1	79 ドクターへリ格納庫 80 廃棄物保管庫	206 171	2014	S	193 151	193 151	0	0	0	0	0	2.5	A	A ,	A =100			on all						-10- -10-			
小串	1	B1 1	81 A棟 82 立体駐車場A 83 保育所	4, 830 2, 656 922	2019 2015 2016	S	34, 529 13, 155 1, 096	34, 529 13, 155 1, 096	0	0	0	0	0	A E	3 A	A	A = 100 A = 94 A ≥ 100			新営							-10- -10-		
小串	1	A1 1	84 総合研究棟 A 84 総合研究棟 A	813		R	3, 914 15	3, 929	0	0		0	0	A		A				新営							10.0		
小串	1	C1 1	85 ポンペ庫 86 ガスガバナー庫	17		R	17	17	0			0	0	200	A		A =100			新営									
小串	1	B1 1	87 ドクターカー車庫 88 渡り廊下 j	89	2019	S	179 234	179	0	0	0	0	0				A =100			新宮			,			新営			
小串	1	B1 1:	99 渡り廊下k 1 附属小学校校舎	1, 477	2023 1964	S R	21 2, 912	21 4, 026	0 2014	0	2014	2014	2014		A	A	A =85								新営	-60-			
光光		A1 A1	1 附属小学校校舍 1 附属小学校校舍	0	1979 2014	R	77 355	0	2014 0	0	2014	2014	2014																
光光		A1	1 附属小学校校舎 1 附属小学校校舎	0	1981 2004	S	588 94	0	0	2015	0	0	0				C =70												
光光	1	A1	2 附属小学校体育館 3 附属中学校校舎	595 744		R	629 1, 980	629 2, 022	2010	0		2010	2010	C C			C =40 A ≈100								-60-		-60-		
光光	1	B3 -	3 附属中学校校舎 4 附属中学校体育館	600	2010 1966	S	600 600	600	2007	0	6001		2007				A =85											-60-	
光光		A1 2	3 附属中学校校舎 3 附属中学校校舎	408	1981	R	900 324	1. 224 0	0	2014	2014	2014 2014	0				C =64			-10						-50-			
光光	- "	A1 2	4 学生実習宿泊棟 4 学生実習宿泊棟	416 0 81	1977	R	820 113 81	933 0 81	0	0		2000000	0				C = 33			-40-	-40-					〇大規模 〇大規模			
光光光	1	C1 2	16 倉庫 17 体育器具庫 18 ホンブ室	80		В	81 80 8	80	0	0	0	0	0	C	C	C	C 40 C 40				7407	-40-	-40-						
光光	1	A1 2	19 演習棟 10 武道場	106	1981 1993	R	212 352		0	0	2016	2005	0	A	C	C	C =70 B =75						-40-			〇大規模			
光光	1	B1 3	10 点週場 11 プール管理棟 12 体育器具庫	145	1995	R	144	144	0		0	0	0	A E	3 B	В	B =81 A =88										-30- -20-		
光			3 ポンベ庫	10			10		0								A =100									-10-			

	81	政					-	建物	面積		大	規模改作	多歴 部分改何	k:	6化状	兄評価	(202	22年度		2016	H29年度 2017	H30年度 2018	H31年度 2019	R2年度 2020	R3年度 2021	R4年度 2022	R5年度 2023	R6年度 2024	R7年度 2025	R8年度 2026	R9年度 2027
団地名	画対	備の	棟番号	棟名称	建築面積	建築年		建物 面積計	棟計	全面 改修	性能 維持 改修	外壁	屋根防水	内部	屋根・	as	電気設備	機械設備	e l	V	検で評価	***************************************	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2023	2020	2027
	象建物														・屋上 き	E	備	備	雙												
大内 大内 糸米	1	D1	3	管理棟 収納舎 経済学部7号宿舎	131 89 102	1963 1964 1928	В	131 89 102	131 89 102	0	0	2010	2010 2010 0			0 0	С	C = 5					廃止				-60-	-60-			
湯田温泉湯田温泉	1	D2	6	湯田宿舎 A 棟 湯田宿舎 C 棟	309 327	1966 1967	R R	1, 236 1, 308	1, 236 1, 308	0	0	0	0	0	0 0	0 0	C	C =4	10				DE IL				廃止 廃止				
湯田温泉湯田温泉	1 1	-	8	湯田宿舎日棟 熊野荘 熊野宿舎4号棟	290 199 279	1968 1976 1979	R	1, 160 343 1, 394	1, 160 343 1, 394	0	0	0	0 0 2022	0	C	С	C	C 4	10	-40-			-40-		性能維持	廃止	廃止				
湯田温泉	1	D1	10 11	熊野宿舎5号棟 熊野宿舎6号棟	279 161	1980 1984	R R	1, 394 629	1. 394 629	0	0	2022	2022 2022	0	A A	A C	СВ	C =7	70					-40-	性能維持防水			-40-			
吉田吉田	1	A1 A1	9	共通教育本館棟 共通教育本館棟 共通教育本館棟	1.695 0	1966 1966 1998	R	4, 659 2, 100 40	6. 799 0 0	2006 2007 0		2006 2007 0	2006 2007 0	2006 2007 0	CE	3 A	A	A =7	19	-50-											
吉田	1	B1 B1	10 10	共通教育講義様 A 共通教育講義棟 A	1, 208	1966 1970	R R	1, 929 495	3, 295 0	2007	0	2007	2007 2007	2007	C	A	A	A =7	70	-50-											
吉田吉田		B1 B1 B1	10	共通教育講義棟 A 共通教育講義棟 A 共通教育講義棟 A	0	1979 1997 1998	R	720 36 8	0	2007 2007 2007	0	2007 2007 2007	2007 2007 2007	2007 2007 2007																	
吉田	1	B1	11	共通教育講義棟A 共通教育講義棟	818	2007 1967	R	107	1, 114	2010			2010			C A		A =7		F0.	-50-								. 14 01 (8 a)		-60-
吉田吉田	1	A1 A1	13	農学部・共同獣医学部本館 農学部・共同獣医学部本館 農学部・共同獣医学部本館	2,479 0	1966 1972 1980	R	8, 130 868 735	9, 733 0	2003 2003 2003	0	2003	2003 2003 2003	2003 2003 2003	0 1	A	A	A =5	15	-50-							△性能維持  △性能維持  △性能維持	△性能維持 △性能維持 △性能維持	△性能維持 △性能維持	△性能維持 △性能維持 △性能維持	△性能維持 △性能維持 △性能維持
吉田	1	A1	14	理学部 3 号館 理学部 3 号館	969	1966 2003	R	932 37	969	2003	0	0	2014 2014	2003		3 A		A =9		-50-										-60-	90
吉田吉田	[	A1 A1	15	動物医療センター 1 号棟 動物医療センター 1 号棟 動物医療センター 1 号棟	1, 180 0 0	1967 1980 2006	R S	1, 047 273 118	1, 934 0 0	0	0	2009 2009 0	2009 2009 0	0	5 6	C	C	C =5	10	内部											-60-
吉田吉田	1	A1 A1	15	動物医療センター 1 号標 動物医療センター 1 号標 農場本館	0 0 482	2009 2015 1967	R	297 199 795	0 0 795	0	0	0 0 2016	0 0 2012	0 0	A	Α Α.	Α	A	00		-50-										-60-
吉田	1	C1	17	収納舎 牛舎	340 306	1967 1967	S S	340 406	340 406	0	0	0	0	0	C E	6 C	C	C = 2	19 25		-50- -50-				j,		☆改築				00.
吉田吉田	1	B1 B1	20	權野寮 1 号棟 椹野寮 1 号棟 吉田寮 1 号棟	633 0 1,003	1966 1968 1967	R	865 1, 055 3, 882	0 1, 920 3, 882	2015 2015 2011	0	2015	2015 2015 2011	2015 2015 2011		3 A	A	A =9			-50-	-50-									-60-
吉田	1	D1 B1	22	共用棟 C 第 1 学生食堂	70 972	1967 1967	R R	70 324	70 1, 017	0	0	0	2009 1994	1988	C	C C	С	C 4	10		-50- -50-										☆取壊 -60-
吉田吉田		B1 B1 B1	23	第 1 学生食堂 第 1 学生食堂 第 1 学生食堂	0	1968 1978 2002	В	324 9	0	0	0	0	1994 0	1988																	
吉田		B1 B1	23 23	第1学生食堂 第1学生食堂	0	2006 2014	S S	9 344	0	0	0	0	0	0		210 000000															
吉田		B3	28	第 1 体育館 文化サークル株A 文化サークル株A	1.804	1966 1967 1969		1, 804	1, 804		0	2003	2003		B	D	C	C =3	38	-50-	-50-				取壊取壊		〇大規模			-60-	
吉田	1	A1	26 26	中高温微生物研究センター 中高温微生物研究センター	396 0	1966 1968	R	81 270	396 0	2019 2019	0	2019 2019	2019 2019	2019	A	A	А	A =	00	-50-		大規模 大規模									-60-
吉田	1		28	中高温微生物研究センター 体育サークル様A 温査(a)	66	1977 1968 1968	S	45 66	66	2019			2019 2015	2019	A	C	C	C 4	18			大規模 -50- -50-		取壊							
吉田			31		17 41	1968 1968 1969	S	17 41	17 41	0			0		C			C = 3				-50- -50-	取壊				☆取壊				
吉田吉田		C1	35 36	油庫 体育サークル棟B	41 130	1969 1969	B S	41 130	41 130	0	0	2019	0		C	C	C		10			外壁	-50- -50-								
吉田吉田	1	B1 B1		事務局 1 号館 事務局 1 号館 車庫	801 0 331	1968 2006 1968	R	3, 225 88 331	3, 313 0 331	0	2008		2008 2008 0	0	В			C =4	22/4			-50-									
吉田		C1 B3	39 40	守衛所 第1武道場	63 524	1968 1969	R S	63 642	63 642	0	0 2014	2014	0 2014	0	C C	C	C	C 4	10			-50-	-50-								
吉田吉田	13	A1 A1	41	理学部 1 号館 理学部 1 号館 理学部 1 号館	2, 502 0	1968 1972 1980	R	8, 781 448 884	10, 129 0 0	2002 2002 2002		2002 2002 2002	2002 2002 2002	2002 2002 2002	В,	A	A	A =7	19			-50-									
吉田吉田	1		43	理学部1号館 総合図書館1号館 植物バイオ実験棟	0 1,947 147	2002 1970 1970	R	16 4, 520 172	0 4, 520 172	2013 0	0		2013 0	2013		A A		A ===	00					-50- -50-				〇大規模			
吉田	-	C1 B1	46 47	合宿研修棟 弓道場	176 101	1971 1971	B S	176 79	176 101	0	0	0	0 2005	0	CI	0 0	С	C =3	13						-50- -50-			OXMIX			
吉田吉田		C1	48	弓道場 理学部薬品庫 共通教育倉庫	25 13	1995 2003 1971	В	22 25 13	0 25 13	0	0	0	2005 0		A	AA	A		-						-50-		-20-				
吉田	1	C1 B1	51 52	農学部薬品庫 国際交流会館2号館	13 248	1971 1971	B R	13 836	13 836	2008	0	2008	0 2008	2008	B	CA	C	C =4	79						-50- -50-					△性能維持	
吉田吉田		A1 A1	53	教育学部A棟 教育学部A棟 教育学部C棟	1, 190 0 1, 312	1972 2010 1972	R	4, 863 15 4, 486	4, 878 0 5, 370	2010 2010 2011		2010	2010 2010 2011		C E			A =8	79	-						-50-					
吉田吉田	1	A1 A1	54 55	教育学部 C 棟 教育学部 B 棟 教育学部 B 棟	0 252	1975 1972 1975	R R	884 756 252	0 1,008 0	2011		2011 2010	2011 2010 2010	2011 2010		C A		A =8								-50-					
吉田		B1 A1	56 57	教育学部講義棟 教育学部音楽練習棟	157 252	1972 1972	R R	314 497	314 497	0	0	0	0 2019	0	Α (		Ç	C = 4	55	内部		防水	外壁		防水外壁	-50-	〇大規模				
吉田吉田	1	B1 B1	59	教育学部演奏棟 音楽サークル棟A 第2学生食堂	160 200 1, 374	1972 1972 1972	R	160 200 770	160 200 1, 338	0 0 1999	0	0	0 0 1999	0		3 C	C	C =4 B =5	19				空調	空調		-50- -50-	〇大規模	〇大規模		△性能維持	
吉田	1	B1 A1	60 61	第2学生食堂 経済学部A棟	0 746	1999 1972	R R	568 3, 205	3, 208	2009	0	2009	0 2009	2009	ВЕ								many 200			-50-				△性能維持	
吉田吉田		B1 A1	62	経済学部A棟 経済学部B棟 経済学部C棟	0 443 927	2009 1972 1972	R	676 1, 388	676 2. 468	2020 2020	0	2020	2020 0	2020	A A								大規模			-50- -50-					
吉田		A1 A1	63 63	経済学部 C棟 経済学部 C棟	0	1978 1981	R R	504 501	0	2020 2020	0	2020 2020	0	2020 2020									大規模 大規模			- seedille		△防水			
吉田吉田	1	C1	64 66	経済学部 C 棟 温室 ( c ) 厩舎 A	113 129	2005 1973 1972	S B	75 113 215	113 215	2020 0	0	0	0	0	C	C	C	C =4	10				大規模			-50-	☆取壊	△筋水			
吉田吉田	/	/	88	配舎B 器材庫 温室(d)	113	1972 1973 1973	B	113	113		/	/	0	/	//	C C	1	C 4	10					取壊		-50-	☆取壊				
吉田	1	B3 D1	71 73	第2武道場 廃棄物貯蔵施設	607 19	1973 1975	S B	607 19	607 19	0	2008	2008	2008 0	0	C	0 0	C	C 4	10 10							-50-	A AKAN		-50-		
吉田吉田			75	教育学部G棟 共用棟A 共用棟A	238 528 0	1976 1976 1979	R	952 702 882	952 1, 584 0	2010 0	0		2010 2014 0	2010 0	C	AA				-40- -40-							〇大規模 〇大規模			-50- -50-	
吉田	1	B1	76 77	共通教育講義棟 B 特殊廃水処理施設	213 338	1976 1976	R R	400 160	400 338	0	0		2010	0		A C			70 10	-40- -40-				内部	内部	☆取壊				-50-	
吉田吉田				特殊廃水処理施設 埋蔵文化財資料館 倉庫	130 30	1995 1977 1977	R	178 130 30	130 30	0	0	2012 0			A E			C =6			-40- -40-					☆取壊	☆取壊				-50-
吉田	1	C1	80 81	学生実習棟 A 排水管理棟	49 122	1978 1978	S R	49 112	49 112		0	0	100	0	C E	3 C	C	C = 4	19 55			-40- -40-	The date			☆取壊					
吉田吉田		B1 B1	84	生活排水処理施設 人文学部講義棟 人文学部講義棟	327	1978 1979 2003	R R	550 45	601	0	0	0	2018 2018	0				C 4				-40-	取壊 40-					〇大規模 〇大規模			
吉田	1			人文学部講義棟	0	1998		6	0	0				0		70	П	$\Box$										〇大規模			

		_	Т	7	1				建物	南面積		大	規模改作	多歴		6化状	况評	価 (2	022年	F度末	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
団地名	計画対	備	棟		棟名称	建築面	神会	変年 構造	建物	棟計	全面	性能維持	2.0000	部分改修	\$		ys.	T	П		2016	2017 点検で評価	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
DEPENDE	外象建物	分	号		体白砂	積	XE 9	K-4- (191)	□ 面積計	178.81	改修	改修	外壁	屋根防水	内部	根・屋上	外部。	中 電気設備	械設備	健全度	黒	MIX CATIM										
吉田	1				人文学部研究棟 学生実習棟B	593 179	-	979 R 1979 S	3, 657	3, 657			2014	2014	2014 2018			A A				1	内部	-40- -40-								
吉田吉田	1	C1 B1	87	7 5	出畜舍 経済学部D棟	81 324	1	979 B 1978 R	81	81	2009	0	2009	2009	2009 2015	С		C	C	40			-40-	-40-					△防水			
吉田吉田	1	B1	1 89	9 1	圣済学部 D 棟 事務局 2 号館	0 477	2	2003 R 1 <i>980</i> R	1, 955	0	2015		2015	2015 2014	2015		в (								-40-	. ,			△防水			
吉田	1	C1	91	1 7	ポンブ室 (事務局)	12	1	1 <i>980</i> B	12	12	0	0	0	0	0	С	C	C	C	E40					-40-							
吉田	1	C1	93	3 7	ドンブ室(吉田寮) ドンブ室(農学部)	16 16	- 1	1980 B 1980 B	16	16	0	0	0	2011			C (	0 0	C	40					-40- -40-							
吉田	1	C1	95		電気室 実験動物施設	13 403	1	1980 B 1980 R	13 498	498				2022	2022		в	C C	Α	=94					-40- -40-	大規模						
吉田	1	B1 B1			聖学部講義棟 聖学部講義棟	176 0		980 R 1984 R	176 176		0	0	0	2022 2022		Α	В	C	C	=64					-40-	防水防水						〇大規模 〇大規模
吉田	1	C1			ポンプ室(理学部) 温室(軽量鉄骨)	4 60		1980 B 1980 S	60		0			0	0	CO		0 0		=40 =40					-40- -40-							
吉田田(特支	1				ドンブ室 (共通教育) 付属特別支援学校教室棟 A	16 876		1980 B 1980 R	16 876					373	- 8	C		0 0							-40- -40-	大規模	大規模					
田(特支田(特支	1	A1	1 10	3 8	付属特別支援学校教室棟B 付属特別支援学校教室棟B	947	1	1 <i>980</i> R 1988 R	1, 526	1,541		0	2023		2023 2023			c c							-40-	大規模 大規模	大規模 大規模					
田(特支	1		3 10	14 B	村属特別支援学校体育館 経済学部 E 棟	607 459	1	1980 S 1981 R	502	607	0	0	2023	2023	2023			CAAA					トイレ		トイレ	大規模 -40-	大規模					
吉田		B1	1 10	5 1	経済学部 E 棟	0	2	2004 R	77	0	0	0	0	0	0		ŝ	Š														
吉田	1		1 10	7	農学環境観測実験棟 シックスライト室	52 63	. 1	1981 B 1981 S	52 63	63	0	0	0	0	0	C	C	0 0	C	=40						-40- -40-						
吉田	1	A1	1 11	0	型学部 2 号館 教育学部合奏棟	250 128		1982 R 1982 R	500 128	128	0	0	0	0			В	3 B 3 B	В	=75							-40- -40-	△防水 ○大規模				〇大規模
吉田	1	A1	1 11	1 4	改育学部実験実習棟 教育学部実験実習棟	396 0	2	1982 R 2004 R	387	0	0	0	2021 2021	2013 2013	0			3 B								外壁 外壁	-40-					〇大規模 〇大規模
吉田吉田	1	A1			国際総合科学部本館 国際総合科学部本館	500 0		1982 R 2016 S	1, 944 55		2016 0	0	2016	2014	2016 0	В	A	AA	Α	=94	大規模 新賞						-40-					
吉田 田(特支	1		1 11	3 [	自動車部車庫 R属特別支援学校ブール管理様	97 49		1982 S 1983 B	97	97				100				C C										-40- -40-				
吉田吉田	1	A2	2 11	5 8	総合図書館2号館 人文・理学部管理棟	615 324	1	1983 R 1984 R	3, 120 1, 239	3, 120	0	0		2014		А	D I	3 B	В	-65				トイレ	-			-40-	〇大規模 -40-			
吉田吉田	-	B1	11	6 ,	人文·理学部管理棟 大学会館	1, 541	2	2013 S 1984 R	2, 328	0	0	0		0	0			3 B											-40-			
吉田	1	D1	1 11	8 7	倉庫棟	9	1	1983 B	9	9	0	0	0	0	0	В	ВЕ	3 B	В				- 00					-40-	40			
吉田	1	A1	1 12	1 4	国際交流会館1号館 政育実践総合センター	357 265	1	1988 R 1988 R	1, 492	530	0	0	0	0			C	3 B	В	=73			-30- -30-									
吉田	1,		1 12	2 1	青報基盤センター棟 青報基盤センター棟	462 0	2	1988 R 2002 R	842		0		0	2009	0	С	В	3 B	D	=54			-30-									
調面					文化サータル様で			1991 S 1967 S							/	4	$\mathcal{X}$	X	H	/		-50-				取壊						
吉田	1				ガラス室 (a) 状医学研究科棟	170 504		1992 S 1993 R	1, 933		0		0	0	0	BB		3 B		=75 =66							-30-					
吉田	1				英 <u>単物合庫</u> 事務局倉庫 A	39		1994 S	39	39	0	0	0	0	0	A	C	3 B	B	73				到9 块					-30-			
吉田	1	B1	1 12	9 F	商品資料館 本育サークル棟D	538 147	- 1	1994 R 1994 R	1,000	1,000	0	0	0			В	В	3 B	В	=75	防水								-30-			
吉田吉田	1	ВЗ	3 13	11 3	第2体育館 プール管理棟	742 204	1	1995 R 1995 R	1, 385	1, 385	0	0	0	0	0	В	C	3 B	В											-30 - -30 -		
吉田田(特支	1	C1	1 13	3 3	実験排水処理施設 3常生活学習施設	81 300	1	1995 R 1994 W	81	81	0	0	_	_	0	В	В	3 B	-	=75								. 44 00 48 11	-30-	-30-		
吉田	1	C1	1 13	5 8	事務局倉庫B	118	1	1994 S	118	118	0	0	0	0	0	В	В	в	В	=75								△性能維持	-30-			
吉田	1	C1	1 13	7 4	本育器具庫B 事務局渡り廊下	19 32	1	1994 S 1995 S	19	32	0	0			0	A	В	3 B 3 B	В	-81									-30-	-30-		
吉田	1	A1	1 13	9 :	機器分析実験施設 レステム生物学・RI分析施設	395 366	1	1996 R 1996 R	1, 154 596	596	0	0	0	0			C	3 B	В	<b>=66</b>	-20- -20-	空調						△性能維持			-30- -30-	
吉田	1				対用牛舎 性肥舎	315 216		1996 S 1998 R	315 216		0					В		3 B			-20-		-20-								-30-	
吉田	1				総合研究標 経済学部多目的棟	940 117		2001 SR 2002 S	5, 808		0	- 22	_	- 10				3 B							空調	空類	-20-				△住能維持	
吉田	1				人文学部2号館 解剖実習標	162 317		2003 S 2003 S	324 317		0		0	0		ВВ		A A		=79 =94								-20-				
吉田	1	C1	1 14	6 3		67 280	2	2006 S	62 268	62			_	0	0	A	A		A	100 94	-10- -10-										-20-	
吉田吉田	1		1 14	8 3	東亜経済研究所 就職支援施設	411	2	2007 S 2010 S	998	998		0	0	0	0	А	в	AA	Α			-10-			-10-							-20-
吉田	1	0.1	1 15	0	吉田寮 2 号棟	1,045	2	2010 R	3, 400	3, 400	0	0	0	0	0	В	в	AA	Α						-10-							
吉田	1	C1	1 15	2 ‡	はアジア研究科・経済学研究科権 直物工場実習施設 名内所	333 59	2	2010 R 2010 S	1, 251	59		0	0	0	0	A	A	A A	Α	100					-10- -10-							
吉田	1	C1	1 15	4 1	本育サークル棟E	29	2	2010 R 2010 S	29	29		0		0	0	A	в	A A	A	=94					-10- -10-							
吉田	1	BI	1 15	6 1	屋外便所 音楽サークル棟B	7 155	2	2010 S 2011 S	242	242		0	0	0	0		Α /	A A	Α	100					-10-	-10-						
吉田		C1	1 15	8 #	等別高圧受電設備棟 直物工場実証施設	113 118	2	2012 R 2012 S	226 118	118	0	0	0	0	0	Α	A	A A	Α	100							-10- -10-					
吉田	1	A2	16	0 1	大動物教育研究棟 総合図書館3号館	243 194		2013 S 2013 SR	1, 027							A	A	A A	А									-10- -10-				
吉田	1	B1	1 16	1 1	祖野寮 2 号棟 本育サークル棟 C	481 354	2	2014 R 2014 S	1, 922	1, 922	0	0	0	0	0	A	в	A A	Α	=94									-10- -10-			
吉田吉田	1	A1	1 16	3 #	世界国際教育研究センター体 動物医療センター2号標	428 50	2	2015 SR 2015 S	3, 413	3, 413		0			0	Α	A	A A	Α	100										-10- -10-		
吉田吉田	1	C1	1 16	5 3	動物医療センター事務棟 総合病態鑑定研究施設	37 340	2	2016 S 2017 S	276	37	0	0	0	0	0	А	A /	A A	Α	100	新営									- 15	-10-	-10-
吉田吉田	1	B1	1 16	7 7	80 百柄態確定研究施設 福利厚生施設 福利厚生施設倉庫	1, 138	2	2017 S 2019 S 2019 S	1, 212	1, 212	0	0	0	0	0	Α	A	A A		100				新営								PME.
吉田	2	1	16	9 =	学生会館	875	2	2021 R	3, 202	3, 202	0	0		0	0	A				-100				和省	新営							
吉田		B1	1 17	1 2	学生会館ゴミ置場 文化サークル棟A	725	2	2021 R 2022 W	725	725		0	_	100	0	200	A		-						新営	新営						
小野	1	C1	1 2	. 7	ドート艇庫 ドート部合宿所A	162 105	1	1971 S 1971 S	162	105	0	0	0	0	0	C	C (	0 0	С							-50- -50-						
小野 秋穂	1	B1	1	-	ボート部合宿所B ヨット部合宿所	54 99	- 1	1980 S 1983 S	54 194	194	0	0	2017	2017	0	Α	A I	C C	В	-88		外壁			-40-			-40-				
桃山 虹ヶ浜	1				量外便所 虹ヶ浜宿舎	9 129		2001 R 1987 R	257		0		0	0		BB		3 B								-20-						
虹ヶ浜 虹ヶ浜	1	D1	1 2	1	物置 A 物置 B	7	1	1987 B 1987 B	7	7	0	0	0	0 77.		В	В	3 B	В	=75												
B 吉敷	/	1	1	1	**ンパスイノペーションセンター Y U国際シェアハウス 1号棟	326	1	971 R	1, 298	1, 298	0	/	/	/	/	1	1	1	1	/	借用					廃止						
吉敷	/	1	1	,	/ U国際シェアハウス 2 号棟 山崎主ちなか木来研究所	326	1	1971 R	1, 298		0		0	Ö	- 2	4	1	X			借用 借用				施止							
秋吉台	/	/	1	1	以言台アカデミックセンター 以言台アカデミックセンター 山口大学サテライトラボ萩	20 90	1	1959 R 1969 S	20							4		1			借用		借用		Se III.							
RX.					ユーハナッナフィ トフ小秋	90	1	000 3	90	90	U	U		. 0	U	11	1	1					預用									

※今後の施設整備費補助金の措置状況や劣化状況評価の結果により実施時期を変更する可能性がある。

【ライフライン】整備計画( [ 期:2016年度~2027年度)は次表のとおり。

				全体計 (H28~R9		平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和1年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023	令和6年度 2024	令和7年度 2025	令和8年度 2026	令和9年度 2027
5	田地		保有設備等の種類	数量	単位	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量
番号	名称	分類	名称									2 8					
1	白石1	H-1a	高圧受変電設備	03000	kw	0	0	0	0	0	0	0	270	0	0	0	0
1	白石1	H-8 EV	新エネルギー利用設備 昇降設備	_	kw 台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	白石1	L-1	<b>弄</b> 阵故调 屋外給水管		m	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	白石1	L-2	屋外ガス管	132	-	0	- 3	0	0	0	0	0	132	0		0	0
1	白石1	L-3	屋外排水管 雨水・汚水・実験	206	_	0	  主 羊 #	5.1-+-7-++-hm =	50 J± 0	0	0	0	206	0	200	0	0
1	白石1	L-5	屋外電力線 高圧・低圧	0	m	0		は建物	全個 0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	白石1	L-6	屋外通信線 電話・LAN・防災	89	m	0	事業で	"	0	0	0	0	0	0	0	89	0
2	白石3	H-1a	高圧受変電設備		kw	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
2	白石3	H-8 EV	新エネルギー利用設備 昇降設備		kw 台	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	白石3	L-1	屋外給水管		m	0			100	0		0	0			0	0
2	白石3	L-2	屋外ガス管		m	0		_	100	0		0	0	0	0	0	0
2	白石3	L-3	屋外排水管 雨水・汚水・実験	747	100000	0			719	0		0	28	0		0	0
2	白石3	L-5	屋外電力線高圧・低圧		m	0	0	0	981	0	0	0	0	0	0	0	0
2	白石3	L-6	屋外通信線 電話・LAN・防災	1, 477	m	0	0	0	1, 477	0	0	0	0	0	0	0	0
3	常盤	H-1a	高圧受変電設備	3, 175	_	0			225	0		0	400	975	0	675	900
3	常盤	H-2	自家発電設備	10770000	台	0	0		0	0	,	0	1	1	0	1	0
3	常盤	H-4	受水槽設備	20000	m3	0	0		0	0		100	0	0	50	0	0
3	常盤	H-6 H-7	冷凍機設備 ボイラ設備		kw t/h	0	0	0 0	0	0		0	352	352 0	0	0	0
3	常盤	H-8	ホイフ設備 新エネルギー利用設備		kw	0	0	1 12	0	0		0	0	177	100	0	0
3	常盤	EV	新エネルキー利用設備 昇降設備		台	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
3	常盤	L-1	屋外給水管	4, 031		0	0	0	0	0	0	468	3, 462	0	0	0	101
3	常盤	L-2	屋外ガス管	3, 172		0	0	0	0	0	0	0	3, 089	0	0	0	83
3	常盤	L-3	屋外排水管 雨水・汚水・実験	3, 903	_	0	0	0	0	0	0	167	3, 736	0	0	0	0
3	常盤	L-5	屋外電力線 高圧・低圧	2, 296	m	0	0	0	889	0	0	0	1, 239	168	0	0	0
3	常盤	L-6	屋外通信線 電話・LAN・防災	9, 437	m	0	0	0	3, 798	105	0	260	381	1, 413	0	3, 246	234
4	小串	H-1	特別高圧受変電設備	15, 000		0	0	100	0	0	11010000	0	0	0	0	0	0
4	小串	H-1a	高圧受変電設備	23, 720		0	0	9, 650	350	0	2, 250	250	3, 120	4, 750	1, 700	225	1, 425
4	小串	H-2 H-3	自家発電設備 中央監視制御設備		台点数	0	0	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	小串	H-4	受水槽設備	408		0	- 3		0	0	0	0	88	92	18	0	0
4	小串	H-6	冷凍機設備	#VALUE!	kw	0	0		中央→個別	中央→個別	0	0	282	0	0	0	0
4	小串	H-7	ボイラ設備	9900	t/h	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	小串	H-8	新エネルギー利用設備	5	kw	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	小串	EV	昇降設備	21	台	0	0	1	0	4	0	0	11	3	2	0	0
4	小串	L-1	屋外給水管	3, 693		0	0	0	0	0	0	0	3, 693	0	0	0	0
4	小串	L-2	屋外ガス管	2, 099		0	0	0	0	0	0	0	2, 099	0	0	0	0
4	小串	L-3	屋外排水管 雨水・汚水・実験	4, 291		0	0	0	0	0	71	0	3, 514	706	0	0	0
4	小串	L-4	屋外冷暖房管 冷温水・蒸気管	1, 057	-	0	0	1,057	0	2 227	550	0	1 100	0	E20	70	402
4	小串	L-5 L-6	屋外電力線     高圧・低圧       屋外通信線     電話・LAN・防災	7, 958 29, 469	100000	0	0	1, 769	0	3, 337 1, 342	550 5, 074	0	1, 123 7, 372	87	539 2, 586	70	483 69
-	o-P	L-0	是ZEAGIGIW 电音·LAN·初火	23, 409	THE .	U		13, 020	Ü	1, 342	3, 074	0	1,312	0	2, 300	U	09
5	光	H-1a	高圧受変電設備	0	台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	光		新エネルギー利用設備		kw	0		_	0	0		0		100			- 22
5	光	EV	昇降設備	0	台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	光		屋外給水管		m	0			0	0	1 3	0	321	0		0	0
5	光	100 100	屋外ガス管		m	0	- 16	. SN	0	0	201	0	0	340	- 17	.792	0
5	光		屋外排水管 雨水・汚水・実験		m	0	70	2000	0	0	0.00	0	0		200	1074	0
5	光		屋外電力線 高圧・低圧	1, 417	_	0			0	0		0		154	312	0	0
5	光	L-6	屋外通信線 電話・LAN・防災	168	m	0	0	0	0	0	0	0	168	0	0	0	0
17	吉田	H_1	特別高圧受変電設備	0	kw	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	n
17	吉田		高圧受変電設備	1, 840	_	0		100	0	0	100	150	500		-		75
17	吉田	H-2	自家発電設備		台	0			0	0		1	0			0	0
17	吉田	H-4	受水槽設備		m3	0	- 2	1	72	0	500	0	12	1723	- 88	0	0
17	吉田	H-5	排水処理設備	120	m3	0	0	0	0	0	0	0	120	0	0	0	0
17	吉田	H-6	冷凍機設備	123	kw	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123	0
17	吉田	H-8	新エネルギー利用設備		kw	0	222	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	吉田	EV	昇降設備	90000000000	台	0	-		0	0	0	1	1	- 1	0	0	0
17	吉田	_	屋外給水管(上水・市水)	7, 120	7 00000	0		37	316	0	18	0	5/0/2009	0			0
17	吉田		屋外ガス管	5, 670	_	0	JANUAR .	1000	0	0	100	48	5, 370	0		157(0./2	0
17	吉田		屋外排水管(雨水) 雨水・汚水・実験	7, 465	_	0			0	0		669	6, 786	0			0
17	吉田		屋外電力線(高圧) 高圧・低圧	9, 662	-	871	0		1,589	0		0	2, 902	2, 690	666	290	24
17	吉田	L-6	屋外通信線(電話) 電話·LAN·防災	25, 088	m	1, 979	0	746	5, 310	0	421	1, 691	3, 146	550	10, 045	0	1, 200
ш					$\perp$	L					L .	l .		L	L	l	

<sup>※</sup>今後の施設整備費補助金の措置状況より実施時期を変更する可能性がある。

## (行動計画)

平成29年3月7日 施設環境委員会 策定 平成29年3月29日 役員会 承認

## (個別施設計画)

平成31年3月5日 施設環境委員会 策定

(行動計画・個別施設計画 改定) 令和 5年 3月14日 施設環境委員会 策定

## 国立大学法人山口大学 施設環境委員会

## 〒753-8511

山口県山口市吉田1677-1 TEL:083-933-5120 FAX:083-933-5141

URL: http://www.yamaguchi-u.ac.jp/